

第1号様式 (第2条)

緑地保全推進地区内行為協議書

令和5年6月13日

(宛先) 鎌倉市長

行為者 住所 東京都港区元麻布2丁目10番25号502号室  
 株式会社 MSE R R N T  
 氏名 代表取締役 丹下大  
 電話 03( 6824 ) 1241



代理人 住所 東京都港区赤坂9-6-14  
 株式会社 坂倉建築研究所  
 氏名 代表取締役 大木 健逸  
 電話 03( 3403 ) 3551

(法人にあつては、その主たる事務所の所在地及び名称並びに代表者の役職名及び氏名を記入すること)

鎌倉市緑の保全及び創造に関する条例第13条の規定による協議をします。

行為の目的	<input checked="" type="checkbox"/> 建築物等の新築等 <input checked="" type="checkbox"/> 宅地の造成等 <input checked="" type="checkbox"/> 木竹の伐採等 <input type="checkbox"/> その他			
土地の所有者等	東京都港区元麻布2丁目10番25号502号室 株式会社 MSE R R N T 代表取締役 丹下大			
行為地の状況	地区の名称	小動岬地区		
	地名地番	鎌倉市腰越2丁目344-12の一部,396の一部,397-1の一部,397-3の一部		
	行為面積	999.84 m <sup>2</sup> 全体面積 ( 2176.55 m <sup>2</sup> ) うち地区面積 ( 398.50 m <sup>2</sup> )		
	土地利用規制	市街化区域	<input checked="" type="checkbox"/> 区域内 <input type="checkbox"/> 区域外	風致地区
用途地域		第一種住居地域 第二種住居地域	その他	
行為の計画概要	水廻り棟、バレルサウナ棟の新築 ウッドデッキの新設 階段の新設 擁壁の新設、部分的な盛土 樹木の伐採			
	着手予定日	令和6年 6月 1日		

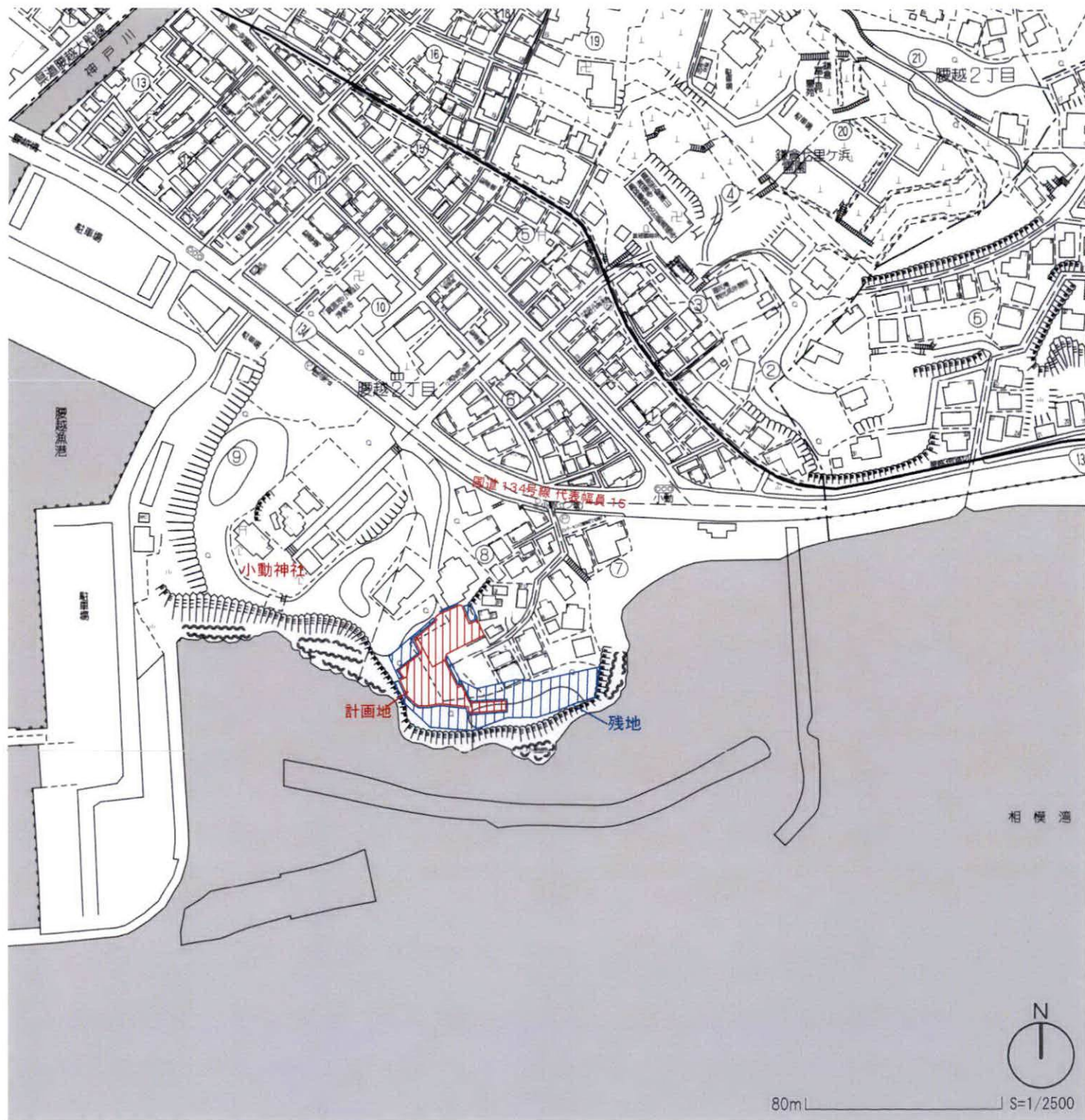


行為区域案内図 1/10000

地理院地図  
GSI Maps

300 m

# 行為区域位置図

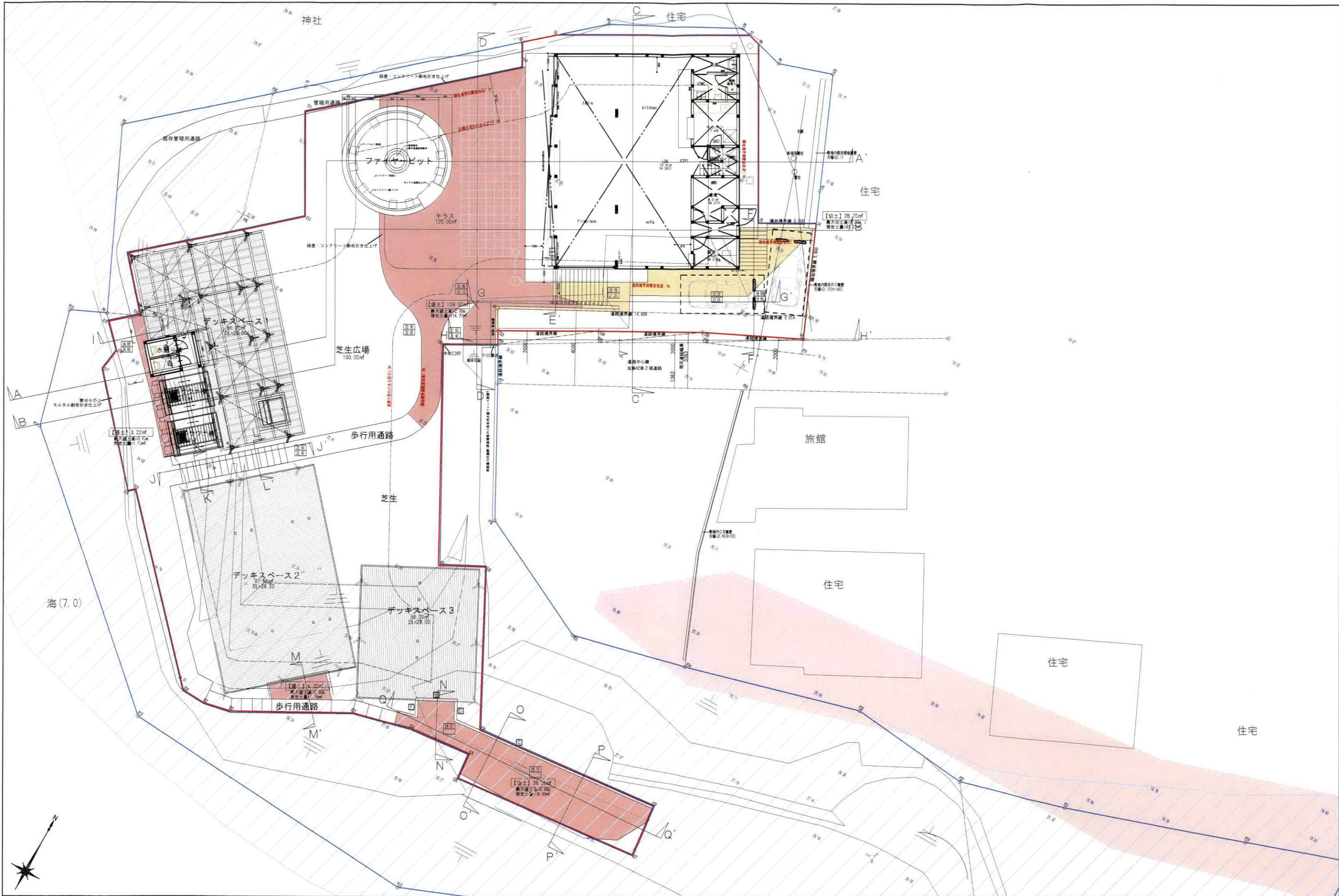


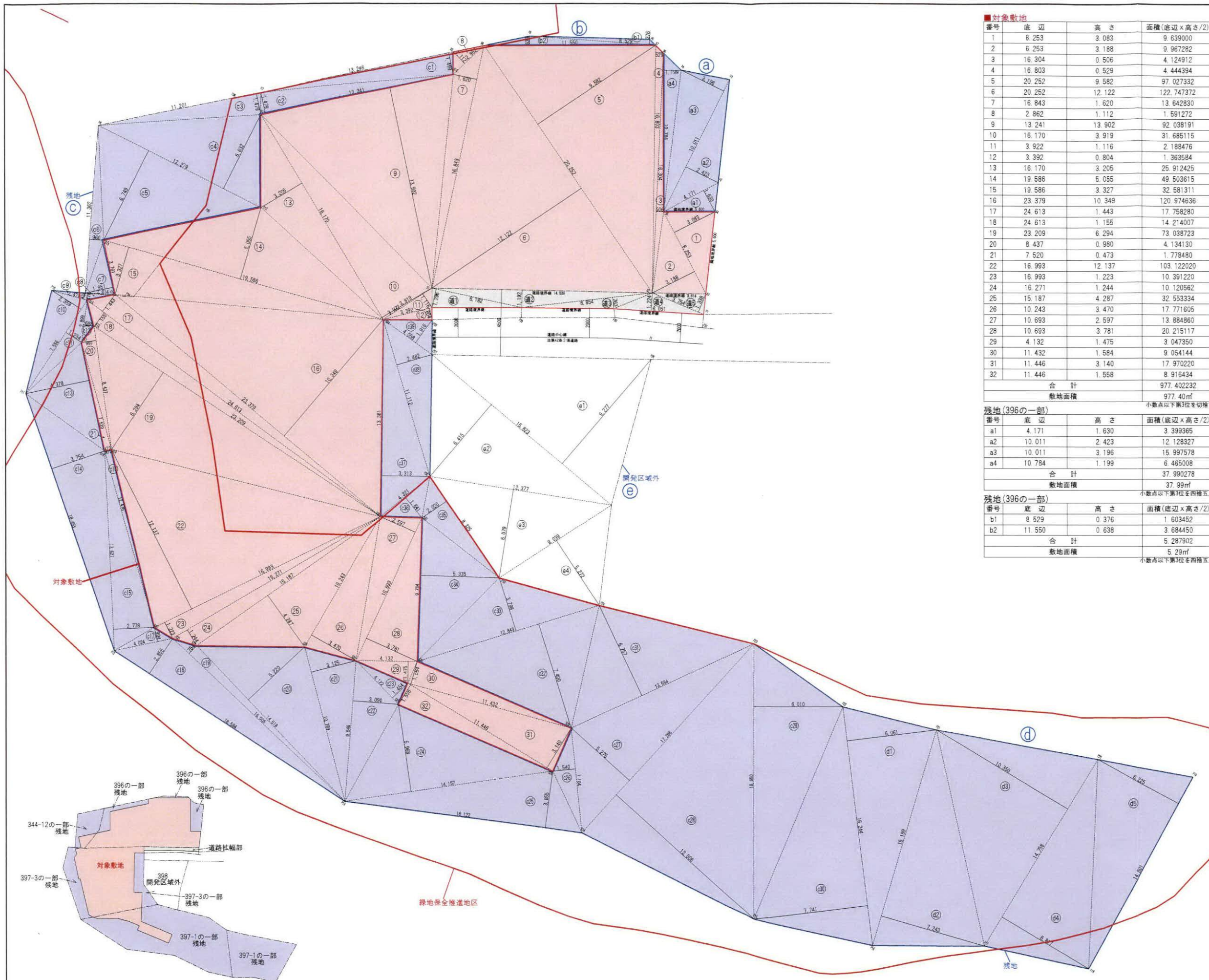


NO	直径(cm)	葉張り(m)	樹高(m)	樹木名	伐採の有無
1	45	4	10	マツ	
2	25	2	8	スダジイ	
3	25	2	8	マキ	
4	15	2	7	アカシア	
5	15	2	7	ツバキ	
6	35	3	8	スダジイ	
7	15	2	7	アカシア	
8	10	2	5	マキ	
9	15	2	5	ヒサカキ	
10	17	2	5	ヒサカキ	
11	17	2	5	ヒサカキ	
12	13	2	4	ヒサカキ	
13	12	2	4	ヒサカキ	
14	12	2	4	ヒサカキ	
15	17	2	4	ヤブニッケイ	
16	60	5	5	スダジイ	
17	70	3	5	スダジイ	
18	13	1	3	ヒサカキ	
19	25	5	8	スダジイ	
20	14	3	4	ツバキ	
21	30	5	8	ツバキ	
22	25	5	8	スダジイ	
23	60	5	8	ツバキ	
24	35	5	9	ツバキ	
25	18	5	8	スダジイ	
26	25	8	10	スダジイ	
27	60	5	9	スダジイ	
28	35	10	9	スダジイ	
29	80	15	10	スダジイ	
30	30	3	5	ツバキ	
31	30	5	10	モチ	
32	35	5	5	スダジイ	
33	30	5	5	ツバキ	
34	30	5	10	ヤブニッケイ	
35	16	3	8	カクレミノ	
36	10	3	5	ヒサカキ	
37	30	5	8	ヤブニッケイ	
38	40	4	5	ヒサカキ	
39	25	5	5	ヤブニッケイ	
40	20	3	3	ヒサカキ	
41	13	3	3	ヒサカキ	
42	20	3	3	モチ	
43	15	2	2	ヒサカキ	
44	30	3	3	ヒサカキ	
45	20	3	3	ヒサカキ	
46	13	2	4	ヒサカキ	
47	20	2	2	ツバキ	
48	18	2	3	モチ	
49	50	3	3	ヒサカキ	
50	10	1	2	ヒサカキ	

NO	直径(cm)	葉張り(m)	樹高(m)	樹木名	伐採の有無
51	25	5	8	モチ	
52	25	5	8	モチ	
53	12	3	4	ツバキ	
54	23	5	8	ヒサカキ	
55	10	2	3	ツバキ	
56	15	3	7	ツバキ	
57	15	4	5	カクレミノ	
58	25	5	5	ヤブニッケイ	
59	25	5	5	カクレミノ	
60	15	2	3	サンゴジュ	
61	25	4	5	スダジイ	
62	25	2	3	サンゴジュ	
63	10	2	3	ヒサカキ	
64	10	2	2	ヒサカキ	
65	15	3	5	ツバキ	
66	30	3	5	ツバキ	
67	10	3	3	カクレミノ	
68	20	5	8	スダジイ	
69	10	3	5	スダジイ	
70	10	3	5	カン	
71	15	5	8	ニレ	
72	10	4	5	ヤブニッケイ	
73	15	5	8	アカシア	
74	25	5	8	ツバキ	
75	15	5	3	ツバキ	
76	20	5	8	スダジイ	
77	60	10	10	モチ	
78	60	10	10	ヤブニッケイ	
79	30	10	10	モチ	
80	10	4	7	モチ	
81	15	5	10	ニレ	
82	15	6	7	カクレミノ	
83	10	3	5	モチ	
84	13	3	3	ヤブニッケイ	
85	15	5	5	ハクワンボク	
86	18	7	4	ハクワンボク	
87	15	3	5	ヒサカキ	
88	50	8	8	ヤブニッケイ	
89	40	4	4	ツバキ	
90	10	2	3	ツバキ	
91	12	2	5	モチ	
92	12	2	5	モチ	
93	13	3	7	ヤブニッケイ	
94	40	5	7	モチ	
95	30	7	7	ヤブニッケイ	
96	50	5	5	モチ	
97	35	7	9	モチ	
98	38	8	10	シイ	
99	60	15	10	モチ	
100	60	5	5	スダジイ	
101	25	8	8	ツバキ	







■対象敷地

番号	底辺	高さ	面積(底辺×高さ/2)
1	6.253	3.083	9.639000
2	6.253	3.188	9.967282
3	16.304	0.506	4.124912
4	16.803	0.529	4.444394
5	20.252	9.582	97.027332
6	20.252	12.122	122.747372
7	16.843	1.620	13.642830
8	2.862	1.112	1.591272
9	13.241	13.902	92.038191
10	16.170	3.919	31.685115
11	3.922	1.116	2.188476
12	3.392	0.804	1.363584
13	16.170	3.205	25.912425
14	19.586	5.055	49.503615
15	19.586	3.327	32.581311
16	23.379	10.349	120.974636
17	24.613	1.443	17.758280
18	24.613	1.155	14.214007
19	23.209	6.294	73.038723
20	8.437	0.980	4.134130
21	7.520	0.473	1.778480
22	16.993	12.137	103.122020
23	16.993	1.223	10.391220
24	16.271	1.244	10.120562
25	15.187	4.287	32.553334
26	10.243	3.470	17.771605
27	10.693	2.597	13.884860
28	10.693	3.781	20.215117
29	4.132	1.475	3.047350
30	11.432	1.584	9.054144
31	11.446	3.140	17.970220
32	11.446	1.558	8.916434
合計			977.402232
敷地面積			977.40㎡

■残地(396の一部)

番号	底辺	高さ	面積(底辺×高さ/2)
a1	4.171	1.630	3.399365
a2	10.011	2.423	12.128327
a3	10.011	3.196	15.997578
a4	10.784	1.199	6.465008
合計			37.990278
敷地面積			37.99㎡

■残地(396の一部)

番号	底辺	高さ	面積(底辺×高さ/2)
b1	8.529	0.376	1.603452
b2	11.550	0.638	3.684450
合計			5.287902
敷地面積			5.29㎡

■残地(344-12の一部、396の一部、397-1の一部、397-3の一部)

番号	底辺	高さ	面積(底辺×高さ/2)
c1	13.246	1.499	9.927877
c2	13.241	1.479	9.791720
c3	11.201	1.479	8.283140
c4	12.279	5.632	34.577664
c5	12.279	6.749	41.435485
c6	11.362	0.960	5.453760
c7	3.761	1.951	3.668856
c8	2.014	0.479	0.482353
c9	2.471	0.433	0.534972
c10	7.556	2.359	8.912302
c11	7.556	1.254	4.737612
c12	2.899	0.688	0.997256
c13	7.520	4.378	16.461280
c14	18.493	3.754	34.711361
c15	13.621	2.778	18.919569
c16	12.476	0.472	2.944336
c17	4.024	0.994	1.999928
c18	18.584	2.855	26.528660
c19	16.005	0.754	6.033885
c20	14.518	5.220	37.891980
c21	10.789	3.125	16.857812
c22	9.546	3.090	14.748570
c23	4.122	1.454	2.996694
c24	14.157	5.968	42.244488
c25	16.122	3.855	31.075155
c26	7.104	1.540	5.470080
c27	17.286	5.275	45.591825
c28	17.286	12.506	108.089358
c29	18.650	6.010	56.043250
c30	16.244	7.741	62.872402
c31	13.594	6.757	45.927329
c32	12.843	7.400	47.519100
c33	12.843	3.798	24.388857
c34	9.784	5.335	26.098820
c35	8.325	2.020	8.408250
c36	4.321	1.841	3.977480
c37	13.381	3.313	22.165627
c38	11.112	2.482	13.789992
c39	4.058	1.916	3.887564
合計			856.446648
敷地面積			856.45㎡

■残地(397-1の一部)

番号	底辺	高さ	面積(底辺×高さ/2)
d1	16.244	6.061	49.227442
d2	15.189	7.243	55.006964
d3	14.758	10.350	76.372650
d4	14.758	6.817	50.302643
d5	14.801	6.225	46.068112
合計			276.977811
敷地面積			276.98㎡

■道路部

番号	底辺	高さ	面積(底辺×高さ/2)
道1	6.182	1.296	4.005936
道2	14.839	1.192	8.844044
道3	8.854	0.763	3.377801
道4	6.051	1.224	3.703212
道5	3.754	1.338	2.511426
合計			22.442419
敷地面積			22.44㎡

■開発区域外(399)

番号	底辺	高さ	面積(底辺×高さ/2)
e1	15.823	9.277	73.394985
e2	15.823	6.415	50.752273
e3	12.377	6.079	37.619892
e4	9.039	5.272	23.826804
合計			185.593953
敷地面積			185.59㎡

■開発区域面積(344-12の一部、396の一部、397-1の一部、397-3の一部、道路部の合計)

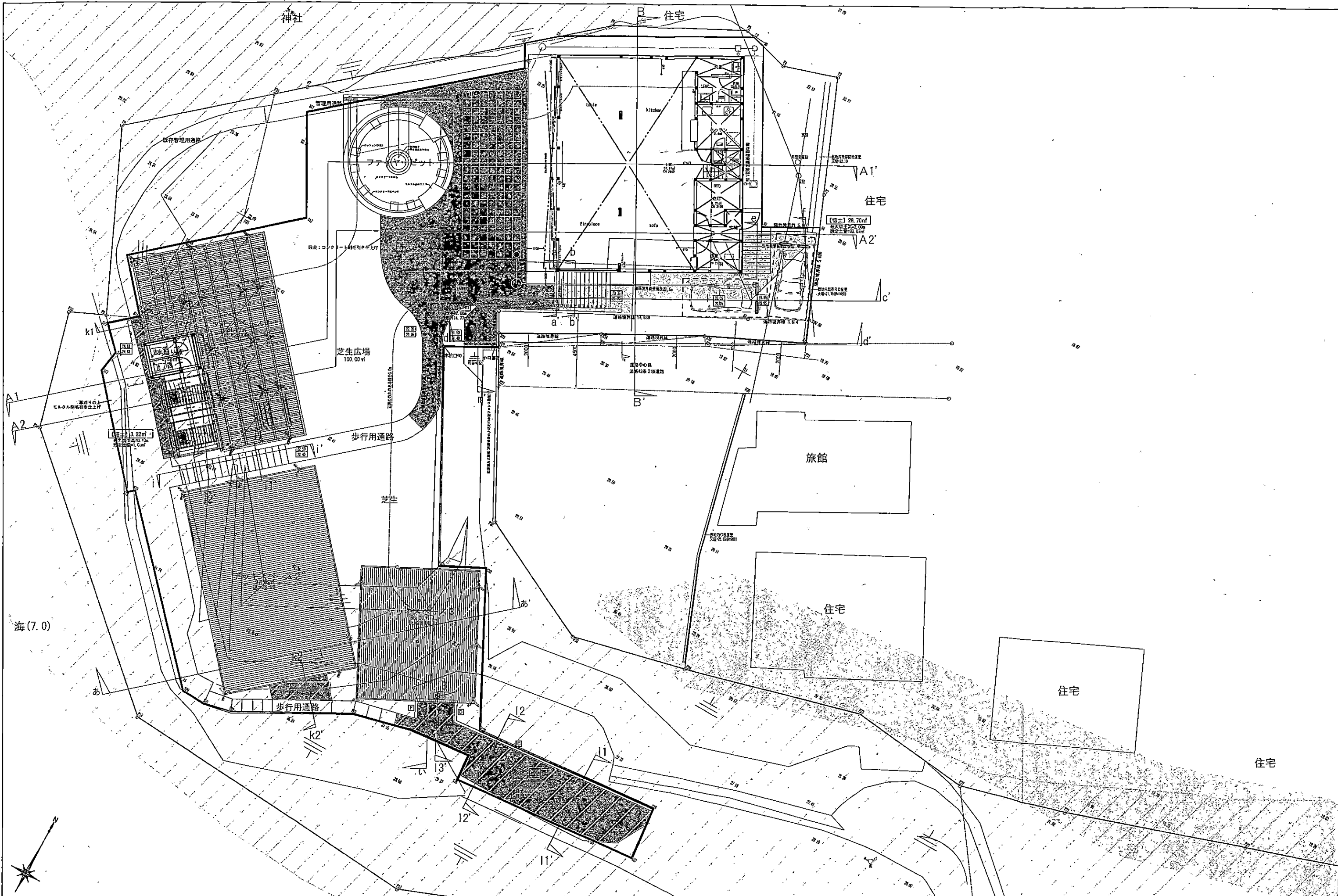
番号	面積
1-3	977.402232
道	22.442419
合計	999.844651
敷地面積	999.84㎡

■残地(344-12の一部、396の一部、397-1の一部、397-3の一部の合計)

番号	面積
a	37.990278
b	5.287902
c	856.446648
d	276.977811
合計	1176.702638
敷地面積	1176.70㎡

■全体面積

番号	面積
開発	999.84
残地	1176.70
(開発区域+残地)面積	2176.54㎡



# 未許可

【注意】緑政審議会の許可が下りる前の図面です



**既存擁壁上増設木場**  
 敷地面積：999.84㎡  
 第3種風致地区（緑化率2/10）= 999.84 x 2/10 = 199.968㎡  
 高木：999.84 x 2/10 x 1/10 = 19.9968 → 20本  
 中木：999.84 x 2/10 x 2/10 = 39.9936 → 40本  
 低木：999.84 x 2/10 x 1/10 = 19.9968 → 20本  
 緑化面積：121.85 + 2.36 + 48.31 + 15.70 + 4.84 + 12.59 = 205.65㎡  
 生垣：2方向（計5.5m）

NO	直径(cm)	葉張り(m)	樹高(m)	樹木名	伐採の有無
1	45	4	10	マツ	
2	25	2	8	スダジイ	
3	25	2	8	マキ	
4	15	2	7	アカシア	
5	15	2	7	ツバキ	
6	35	3	8	スダジイ	
7	15	2	7	アカシア	
8	10	2	5	マキ	
9	15	2	5	ヒサカキ	
10	17	2	5	ヒサカキ	
11	17	2	5	ヒサカキ	
12	13	2	4	ヒサカキ	
13	12	2	4	ヒサカキ	
14	12	2	4	ヒサカキ	
15	17	2	4	ヤブニッケイ	
16	60	5	5	スダジイ	
17	70	3	5	スダジイ	
18	13	1	3	ヒサカキ	
19	25	5	8	スダジイ	
20	14	3	4	ツバキ	
21	30	5	8	ツバキ	
22	25	5	8	スダジイ	
23	60	5	8	ツバキ	
24	35	5	9	ツバキ	
25	18	5	8	スダジイ	
26	25	8	10	スダジイ	
27	60	5	9	スダジイ	
28	35	10	9	スダジイ	
29	80	15	10	スダジイ	
30	30	3	5	ツバキ	
31	30	5	10	モチ	
32	35	5	5	スダジイ	
33	30	5	5	ツバキ	
34	30	5	10	ヤブニッケイ	
35	16	3	8	カクレミノ	
36	10	3	5	ヒサカキ	
37	30	5	8	ヤブニッケイ	
38	40	4	5	ヒサカキ	
39	25	5	5	ヤブニッケイ	
40	20	3	3	ヒサカキ	
41	13	3	3	ヒサカキ	
42	20	3	3	モチ	
43	15	2	2	ヒサカキ	
44	30	3	3	ヒサカキ	
45	20	3	3	ヒサカキ	
46	13	2	4	ヒサカキ	
47	20	2	2	ツバキ	
48	18	2	3	モチ	
49	50	3	3	ヒサカキ	
50	10	1	2	ヒサカキ	

NO	直径(cm)	葉張り(m)	樹高(m)	樹木名	伐採の有無
51	25	5	8	モチ	
52	25	5	8	モチ	
53	12	3	4	ツバキ	
54	23	5	8	ヒサカキ	
55	10	2	3	ツバキ	
56	15	3	7	ツバキ	
57	15	4	5	カクレミノ	
58	25	5	5	ヤブニッケイ	
59	25	5	5	カクレミノ	
60	15	2	3	サンゴジュ	
61	25	4	5	スダジイ	
62	25	2	3	サンゴジュ	
63	10	2	3	ヒサカキ	
64	10	2	2	ヒサカキ	
65	15	3	5	ツバキ	
66	30	3	5	ツバキ	
67	10	3	3	カクレミノ	
68	20	5	8	スダジイ	
69	10	3	5	スダジイ	
70	10	3	5	カシ	
71	15	5	8	ニレ	
72	10	4	5	ヤブニッケイ	
73	15	5	8	アカシア	
74	25	5	8	ツバキ	
75	15	5	3	ツバキ	
76	20	5	8	スダジイ	
77	60	10	10	モチ	
78	60	10	10	ヤブニッケイ	
79	30	10	10	モチ	
80	10	4	7	モチ	
81	15	5	10	ニレ	
82	15	6	7	カクレミノ	
83	10	3	5	モチ	
84	13	3	3	ヤブニッケイ	
85	15	5	5	ハクウンボク	
86	18	7	4	ハクウンボク	
87	15	3	5	ヒサカキ	
88	50	8	8	ヤブニッケイ	
89	40	4	4	ツバキ	
90	10	2	3	ツバキ	
91	12	2	5	モチ	
92	12	2	5	モチ	
93	13	3	7	ヤブニッケイ	
94	40	5	7	モチ	
95	30	7	7	ヤブニッケイ	
96	50	5	5	モチ	
97	35	7	9	モチ	
98	38	8	10	シイ	
99	60	15	10	モチ	
100	60	5	5	スダジイ	
101	25	8	8	ツバキ	

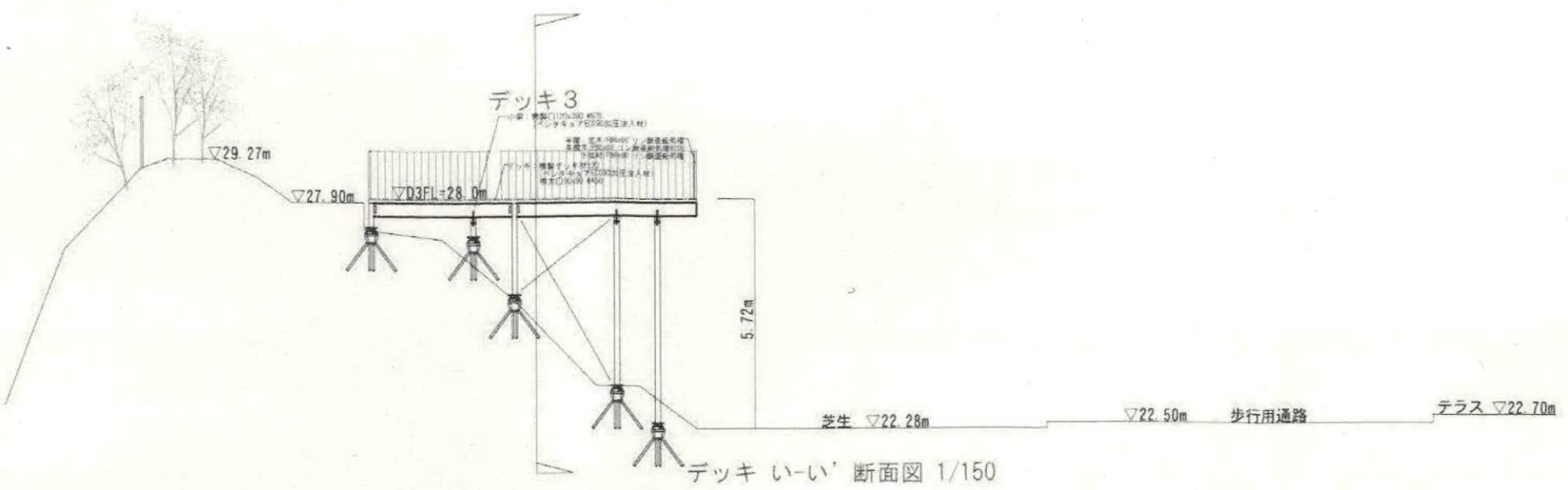
- ◎ 伐採する樹木
- ◎ 保存樹木  
(枯木、倒木の恐れのあるものは除く)
- ◎ 新規植栽する樹木
  - 高木  
キョウチクトウ...3.0m  
ニセアカシア...3.0m  
カシワ...3.0m  
オリーブ...3.0m  
オオシマザクラ...3.0m
  - 中木  
トベラ...1.5m  
マサキ...1.5m  
サルズベリ...1.5m
  - 低木(1.0m)  
A: グレビア、B: ガクアジサイ、  
C: ハマナス、D: ハコネウツギ、  
E: ハマゴウ
  - 緑地帯  
リュウノヒゲ(密植)
- 生垣(マサキ)

**既存樹木凡例**

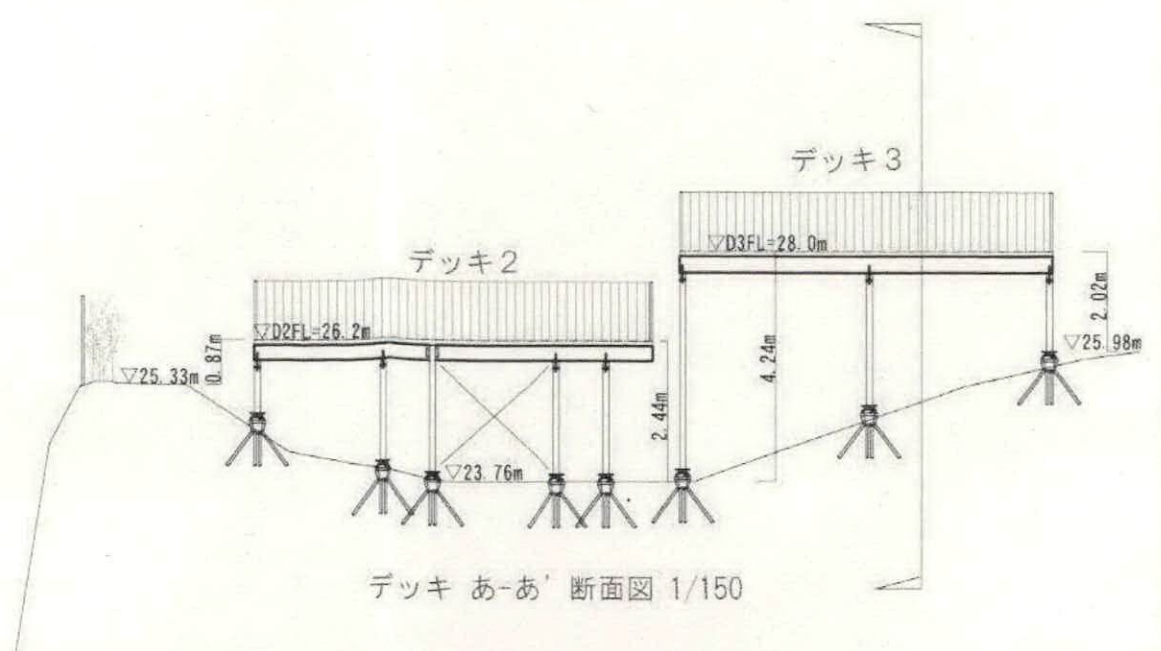
△	ヒサカキ H
⊙	モチ M
⊗	スダジイ S
⊕	ツバキ T
□	カクレミノ K
⊙	ヤブニッケイ Y
△	アカシア A
⊕	マツ P
△	ハクウンボク HA
△	シイ SI
⊕	ニレ NI
⊗	サンゴジュ SA
⊕	カシ KS
⊕	マキ MA
△	サクラ SK
20	樹木番号

緑地保全推進地区範囲  
 22.35 →造成後地盤レベル  
 21.10 →既存地盤レベル

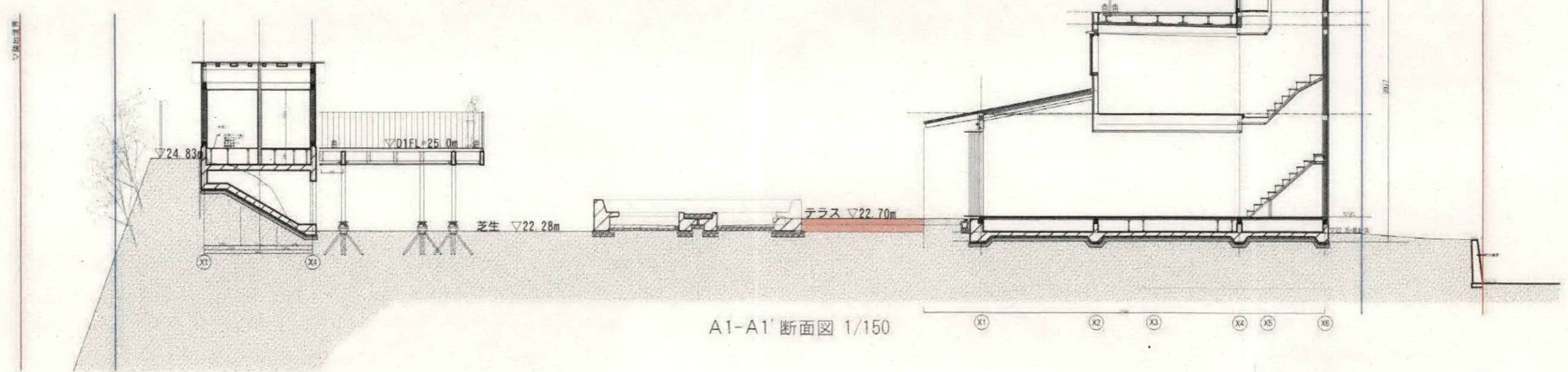




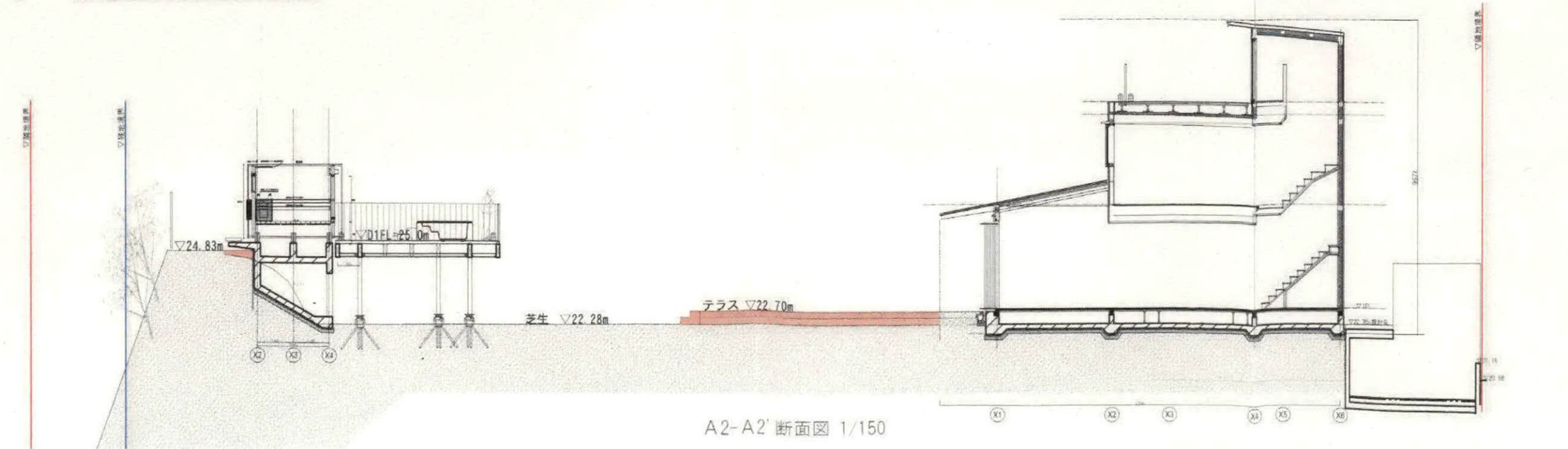
デッキ い-い' 断面図 1/150



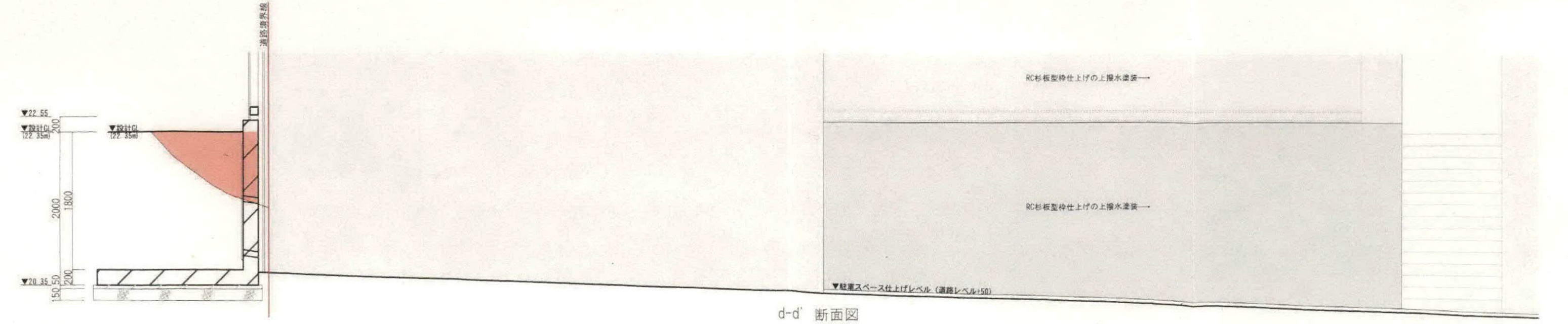
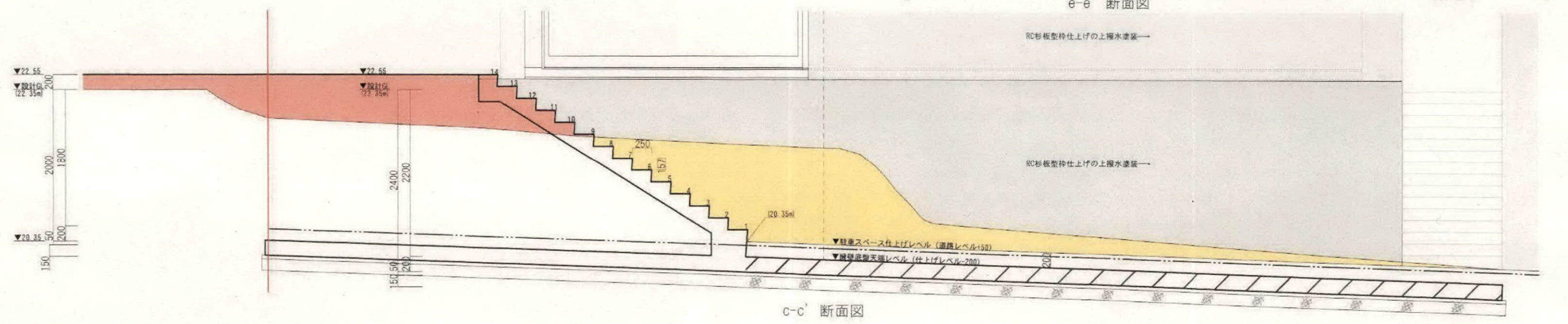
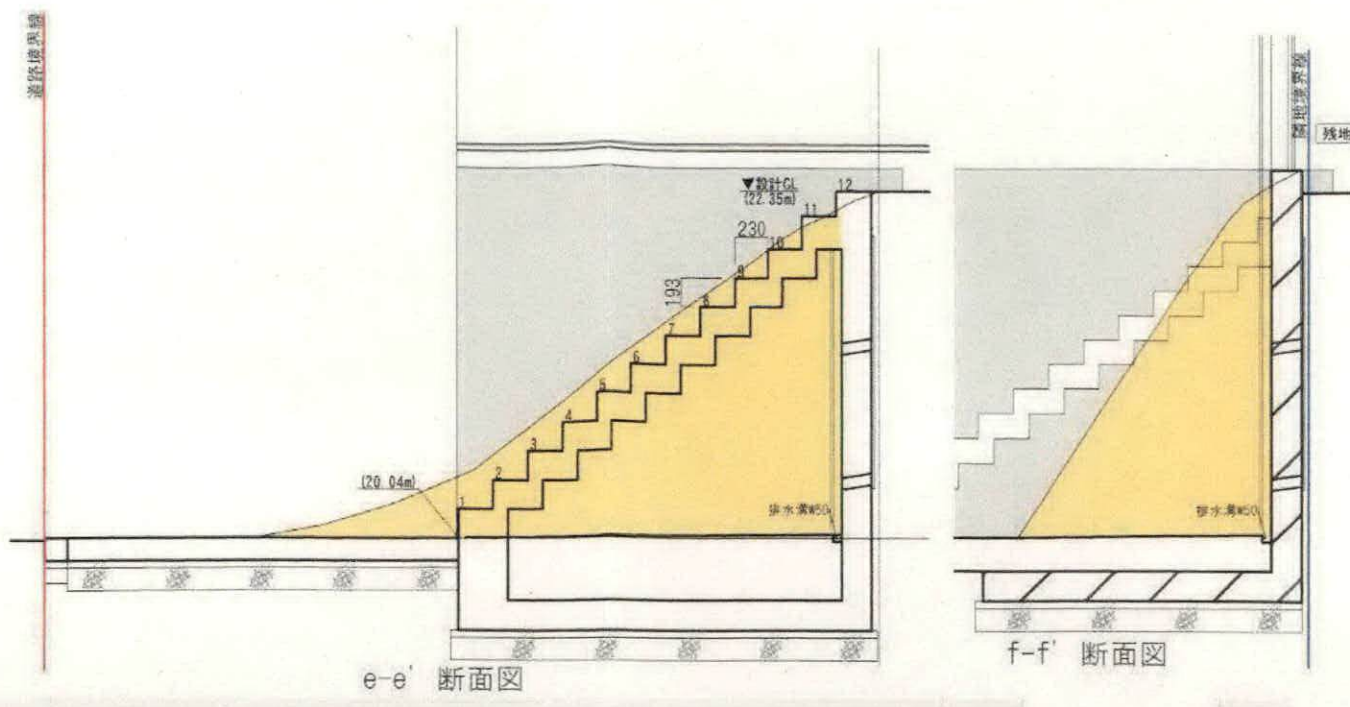
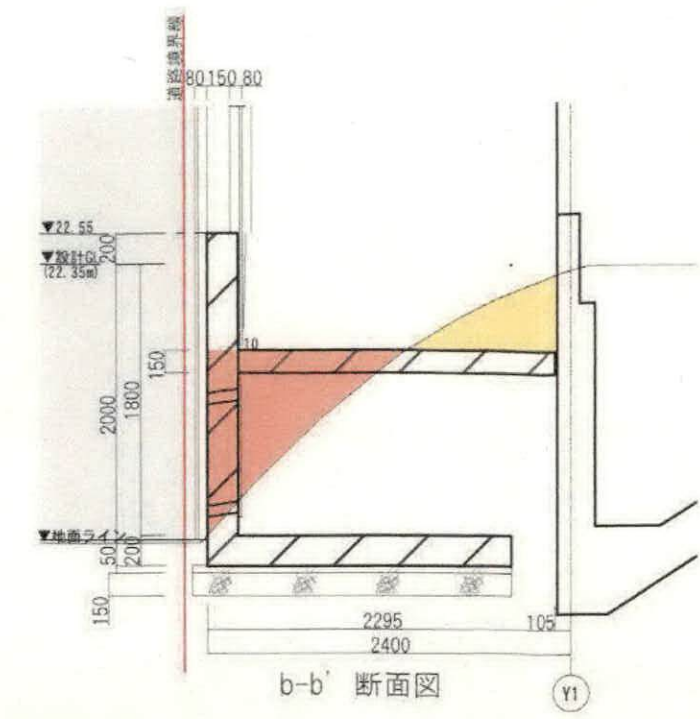
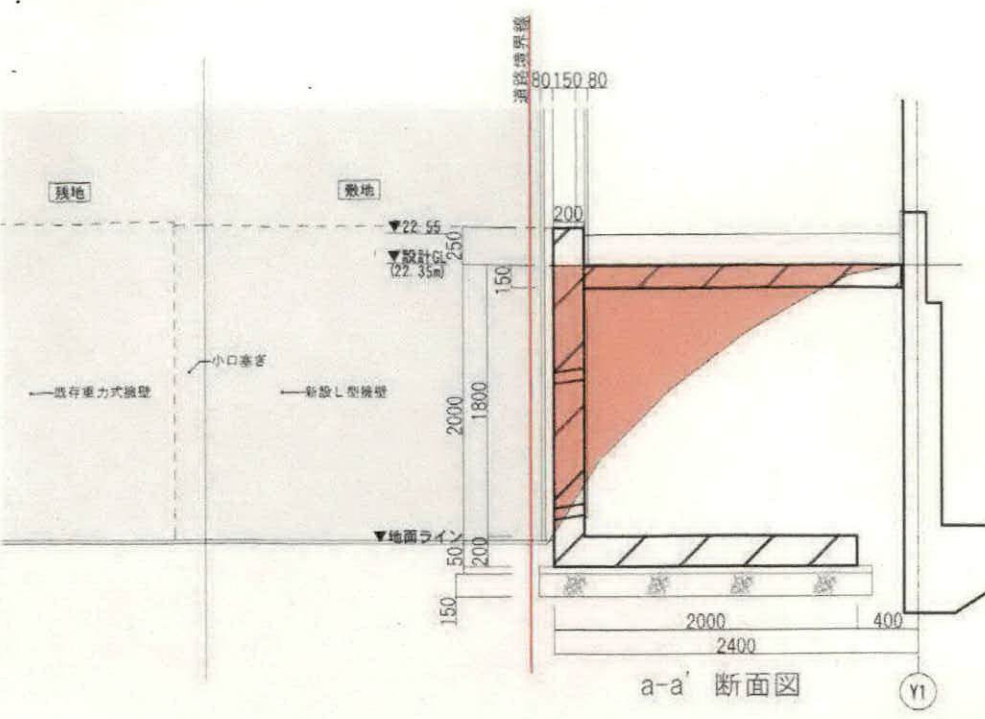
デッキ あ-あ' 断面図 1/150



A1-A1' 断面図 1/150

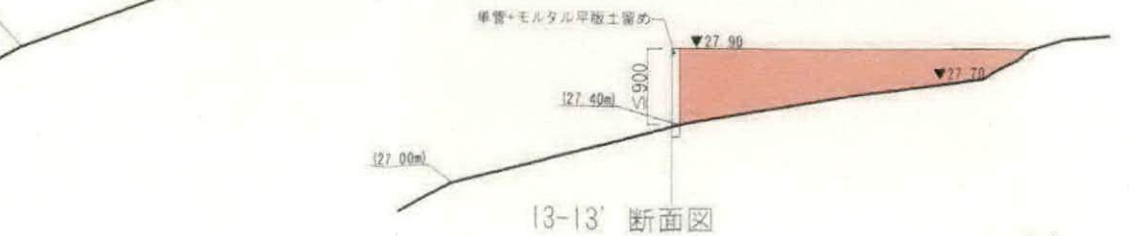
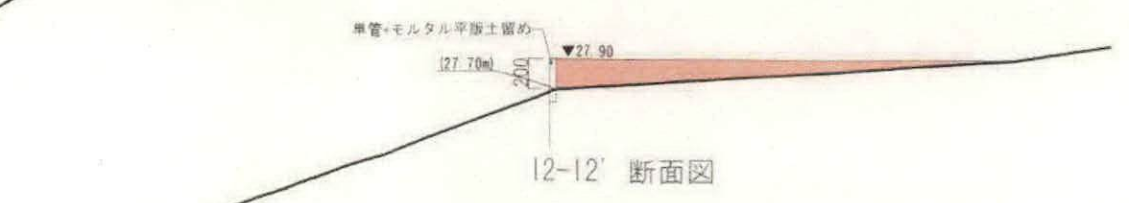
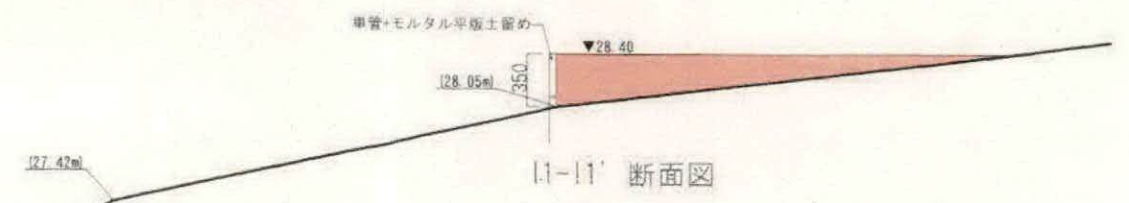
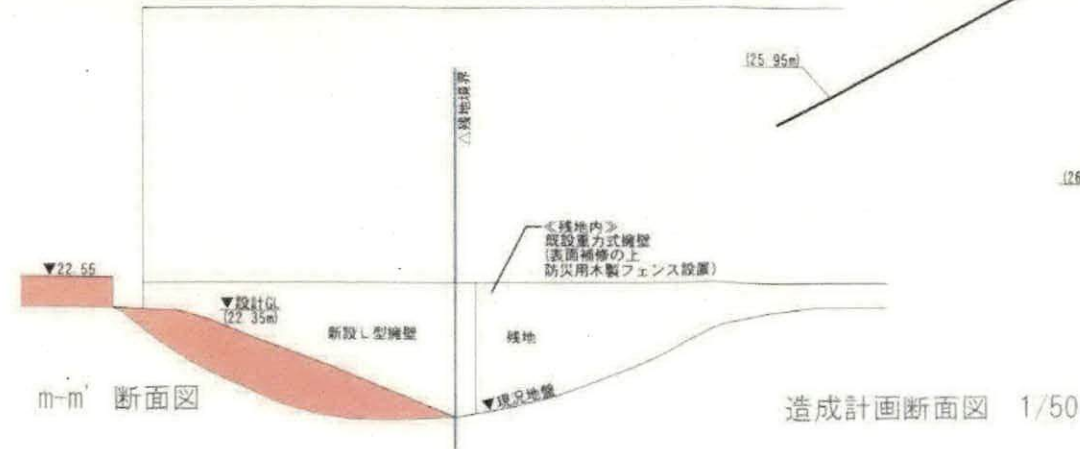
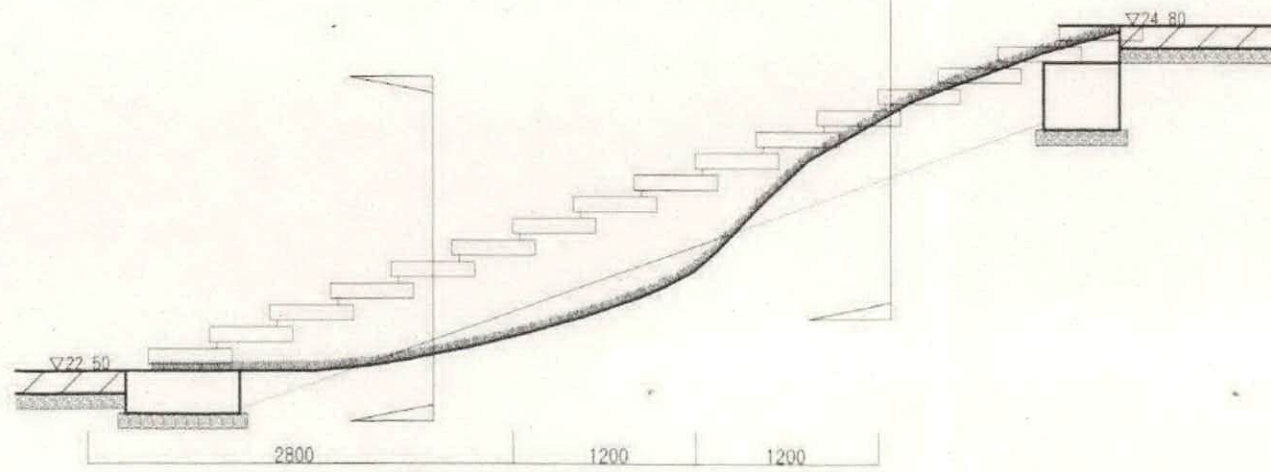
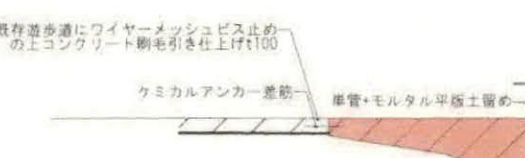
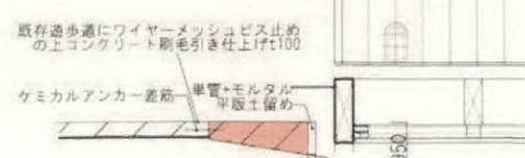
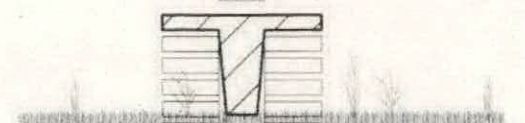
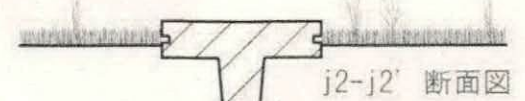
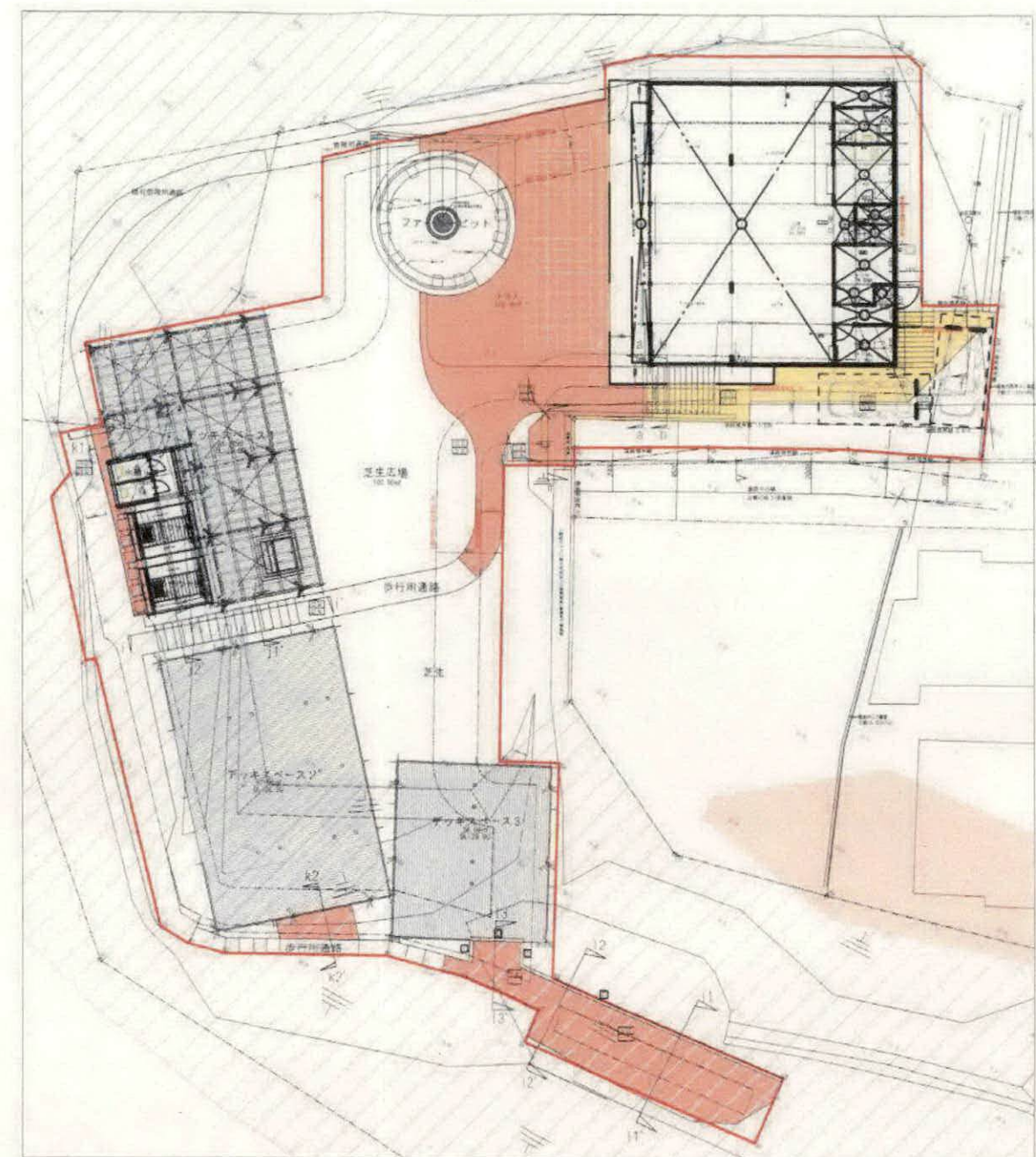
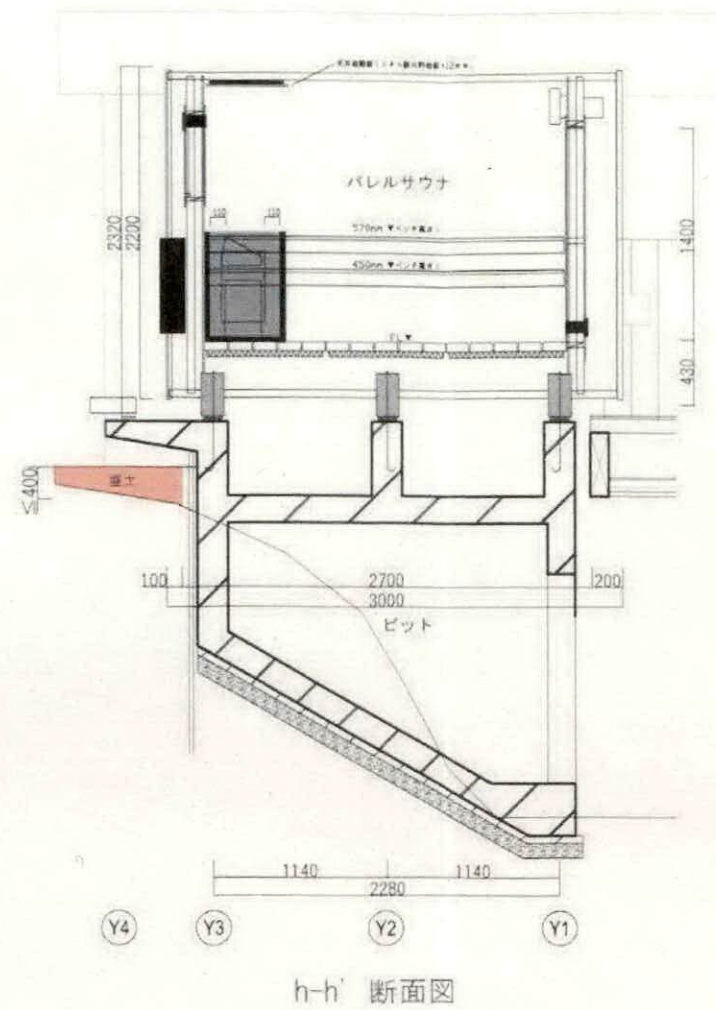
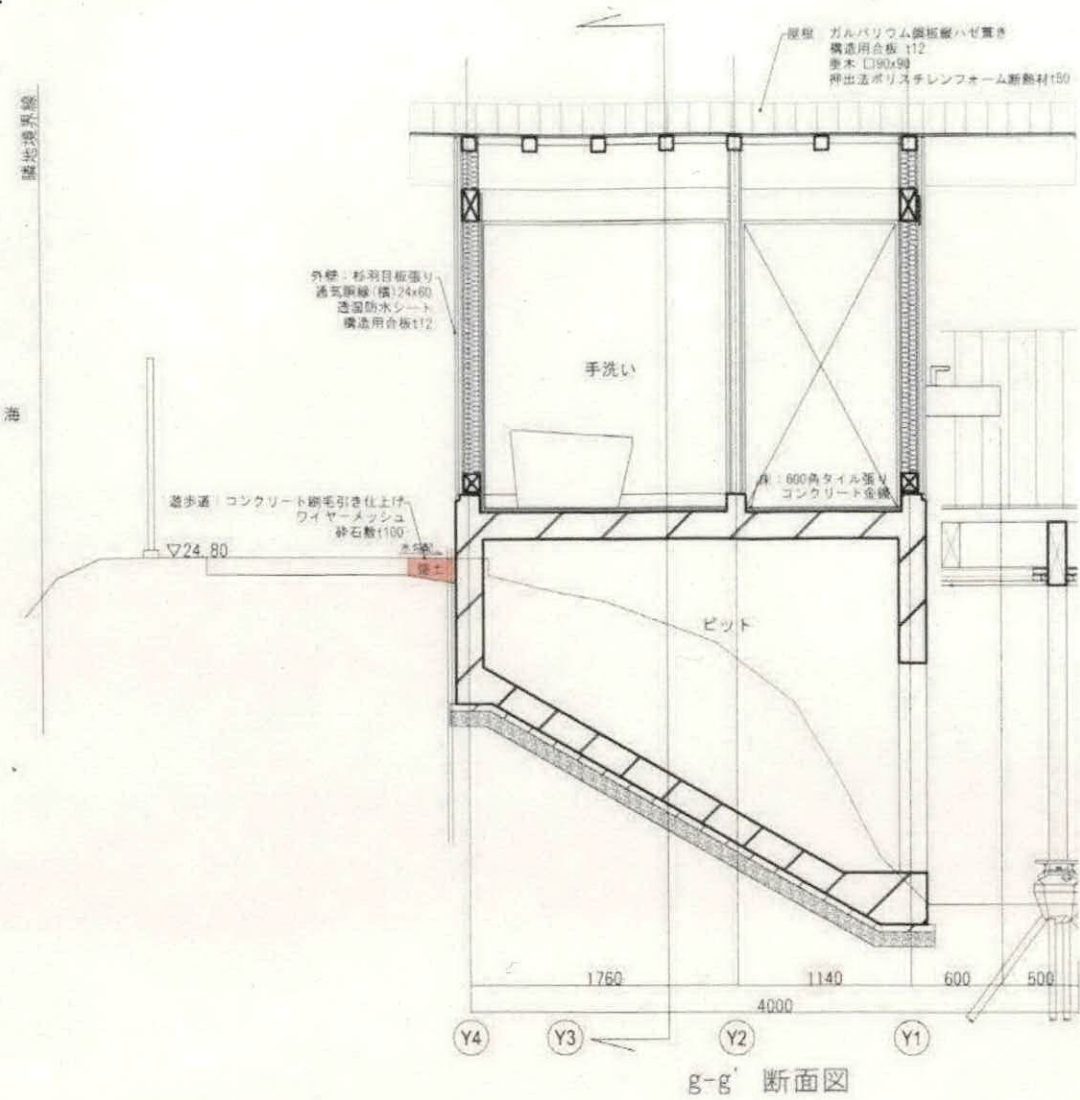


A2-A2' 断面図 1/150

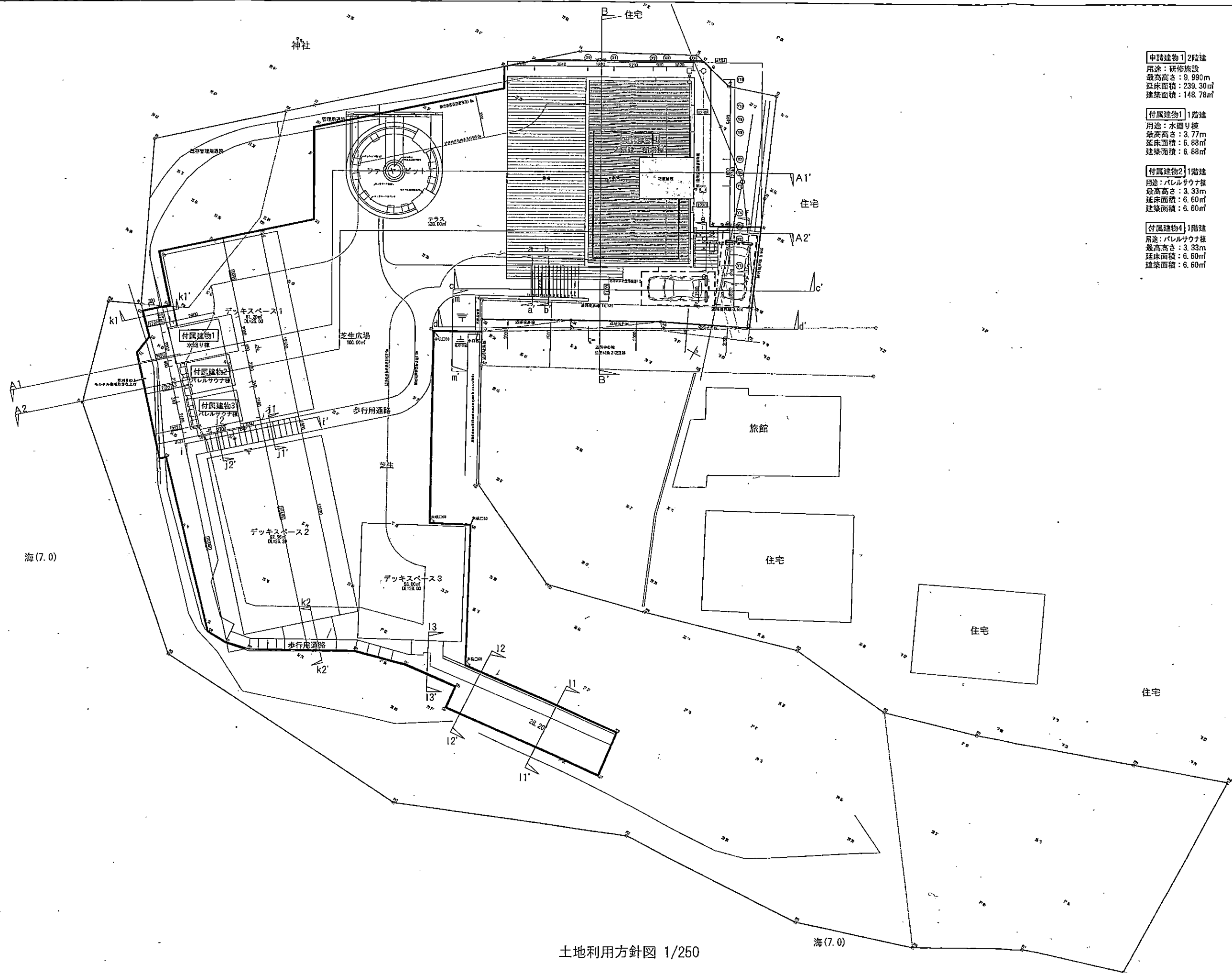


: 切土  
 : 盛土

造成計画断面図 1/50



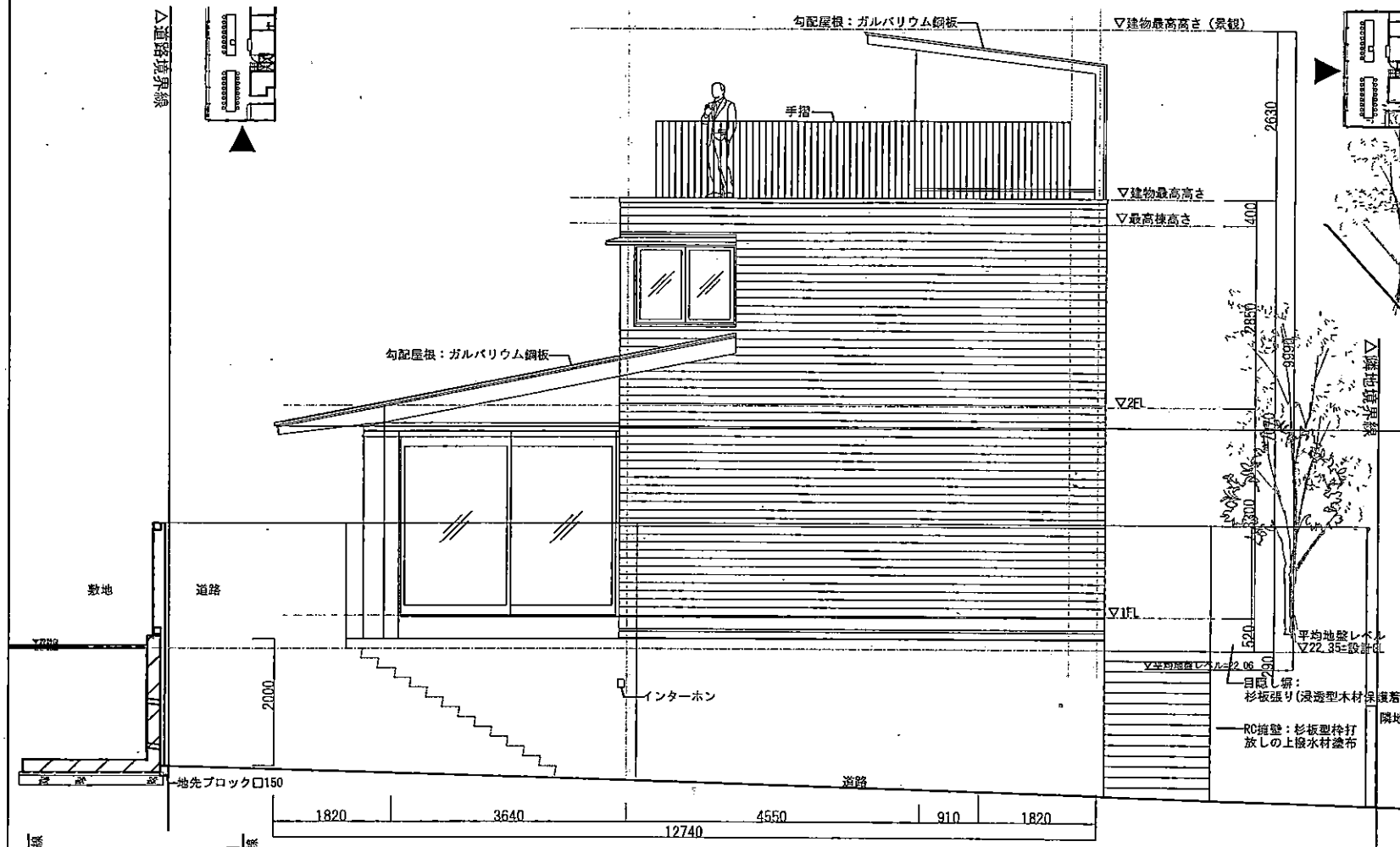
切土  
盛土



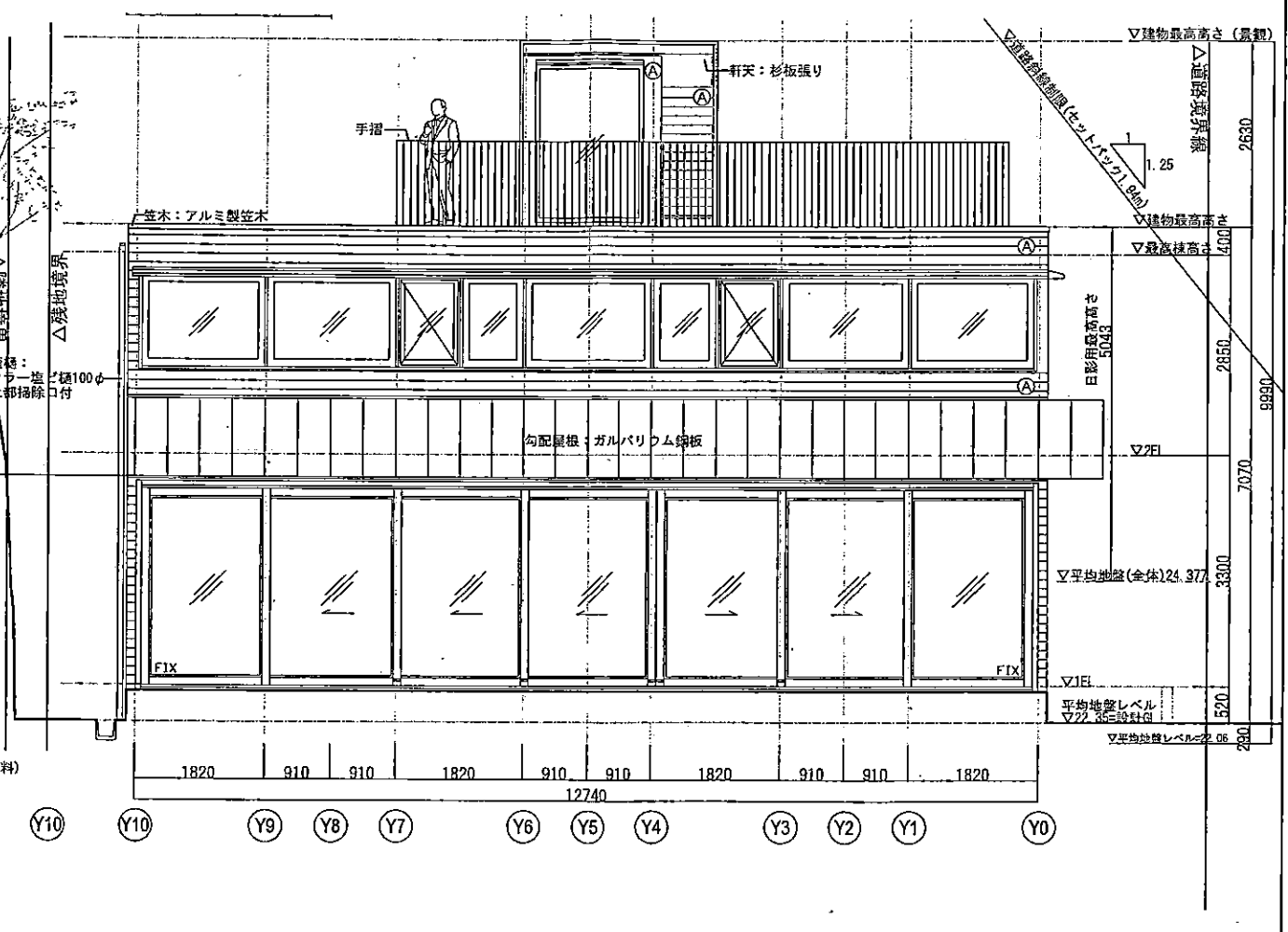
- 申請建物1 2階建  
用途：研修施設  
最高高さ：9.990m  
延床面積：239.30㎡  
建築面積：148.78㎡
- 付属建物1 1階建  
用途：水廻り棟  
最高高さ：3.77m  
延床面積：6.88㎡  
建築面積：6.88㎡
- 付属建物2 1階建  
用途：パレルサウナ棟  
最高高さ：3.33m  
延床面積：6.60㎡  
建築面積：6.60㎡
- 付属建物4 1階建  
用途：パレルサウナ棟  
最高高さ：3.33m  
延床面積：6.60㎡  
建築面積：6.60㎡

土地利用方針図 1/250

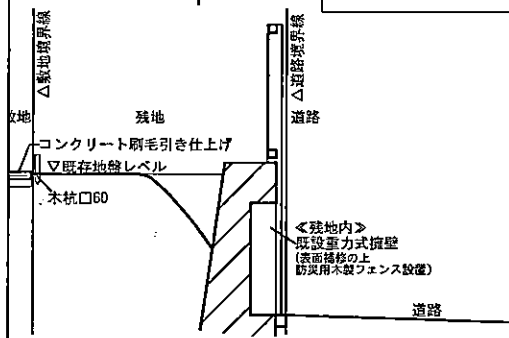
A	羽目板 (杉材) t18
B	カラーガルバリウム鋼板
C	RC打ち放しの上アクリル樹脂系多層底盤 柱状上塗材 (ペルアートスタッコ仕上げ)
D	
E	
F	
G	
H	

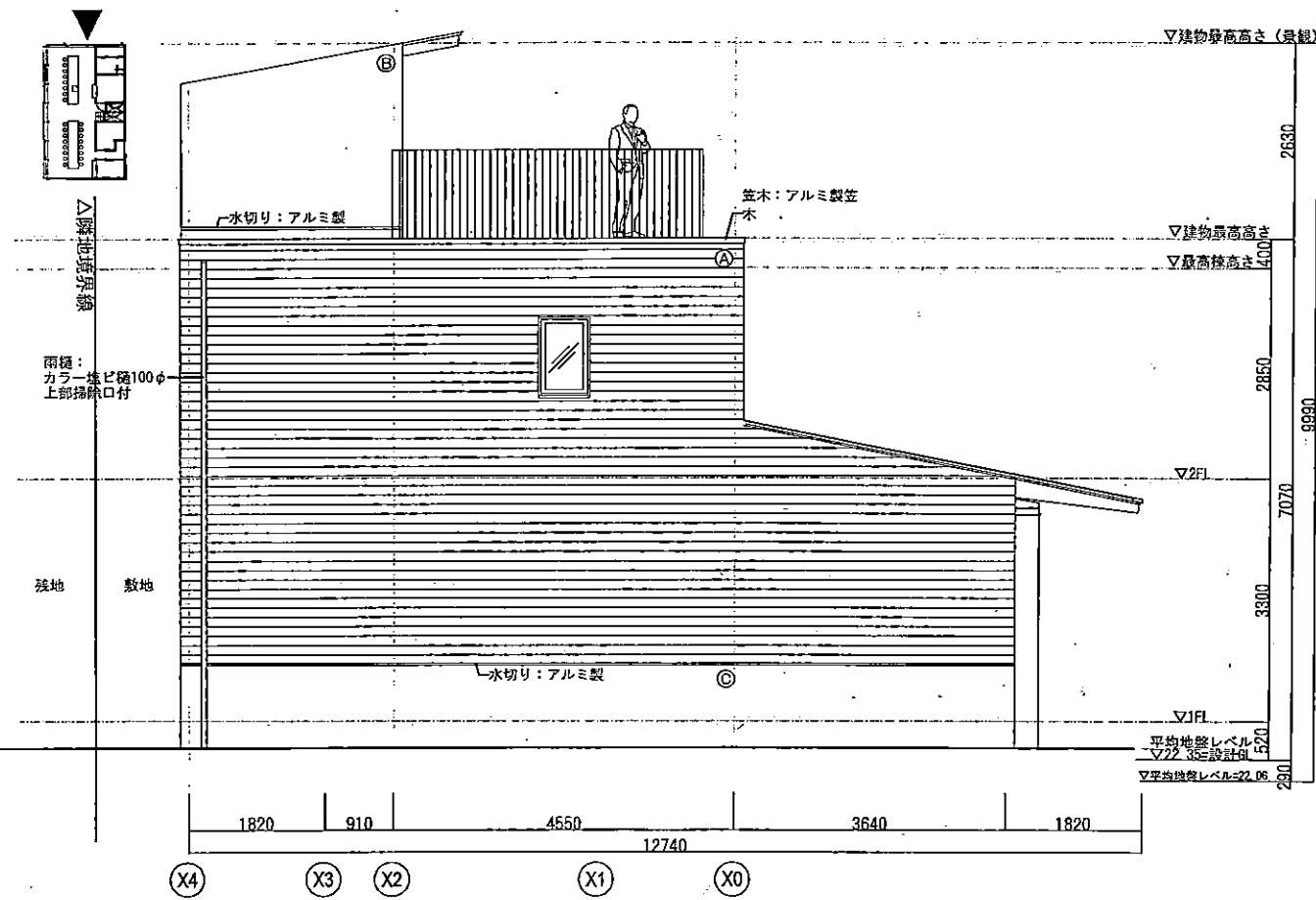


南 (道路) 側立面図

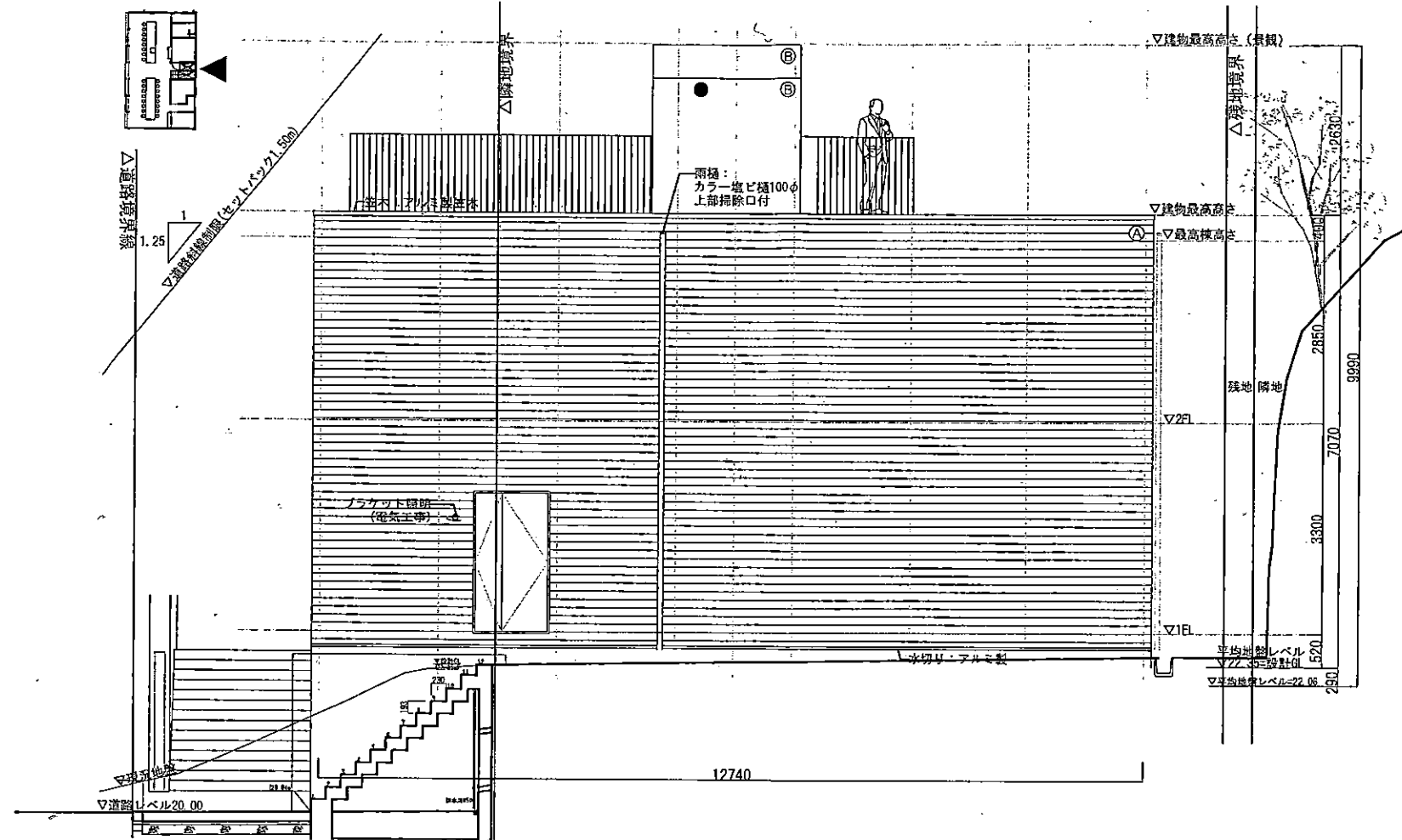


西 (海) 側立面図

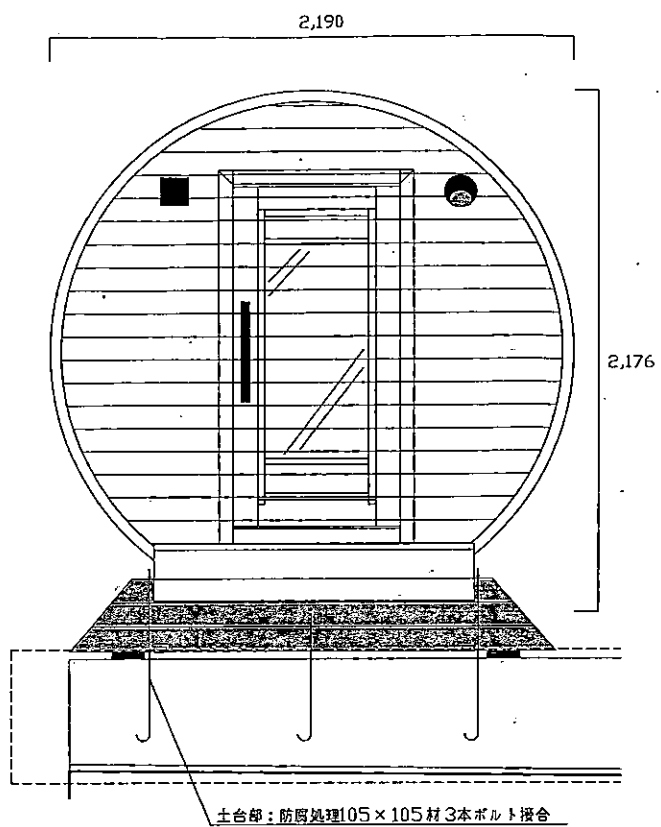




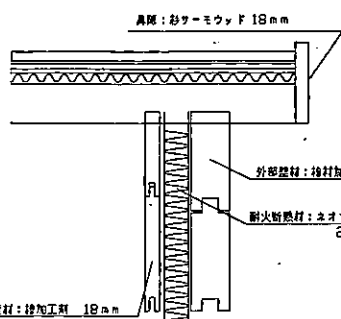
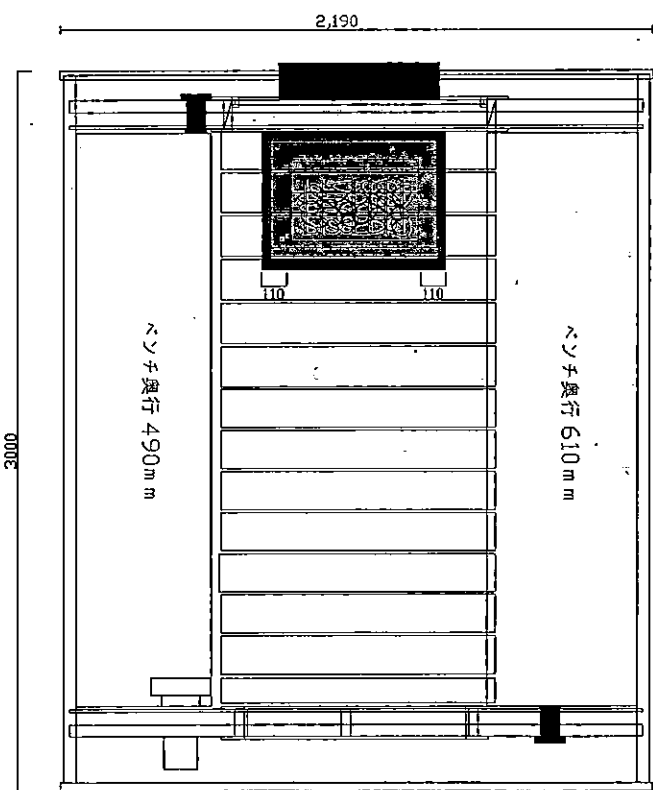
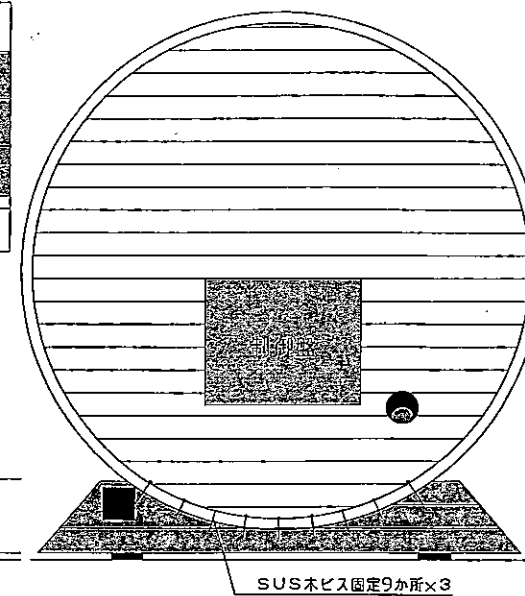
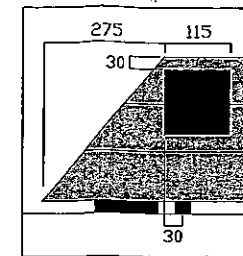
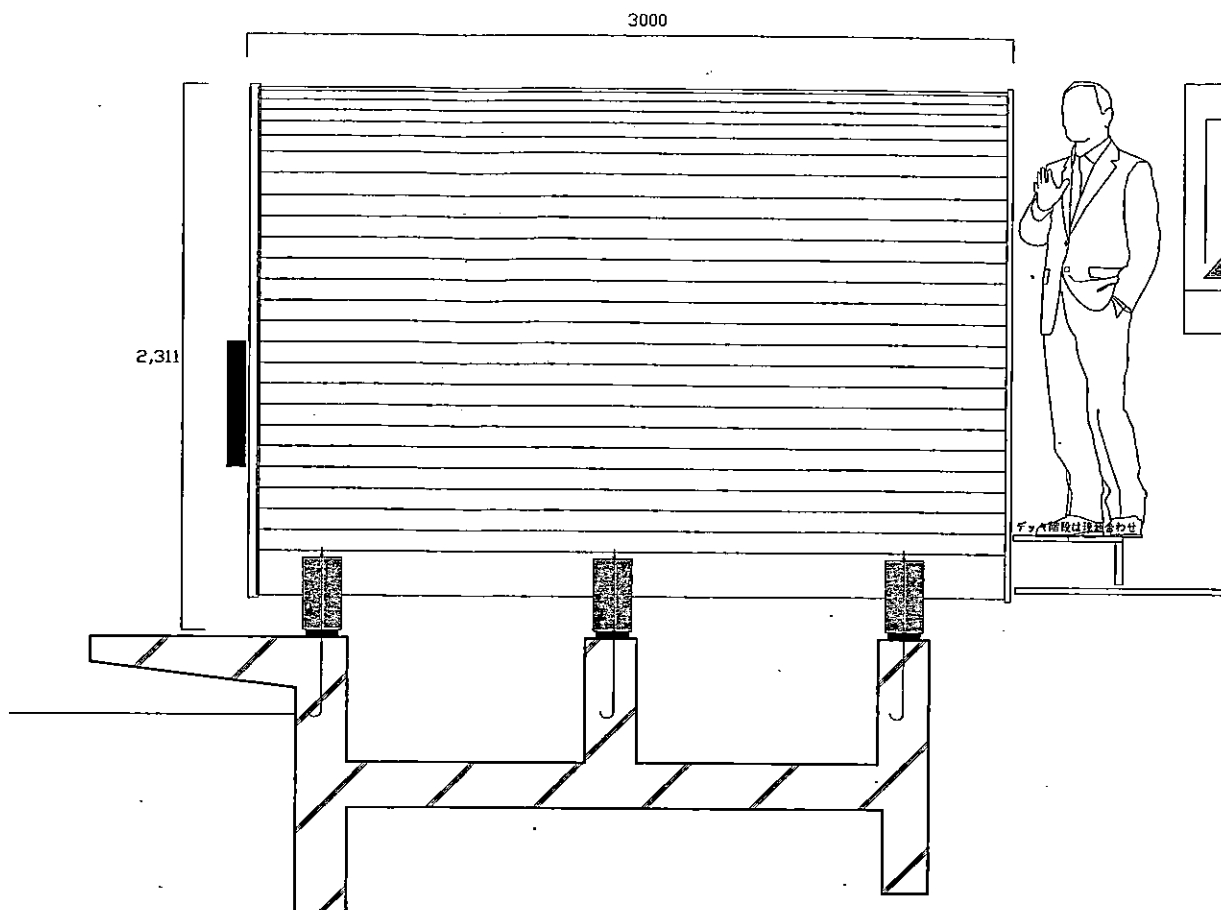
北(崖)側立面図



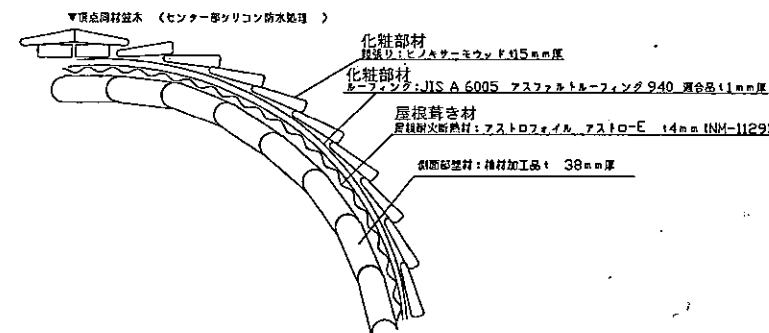
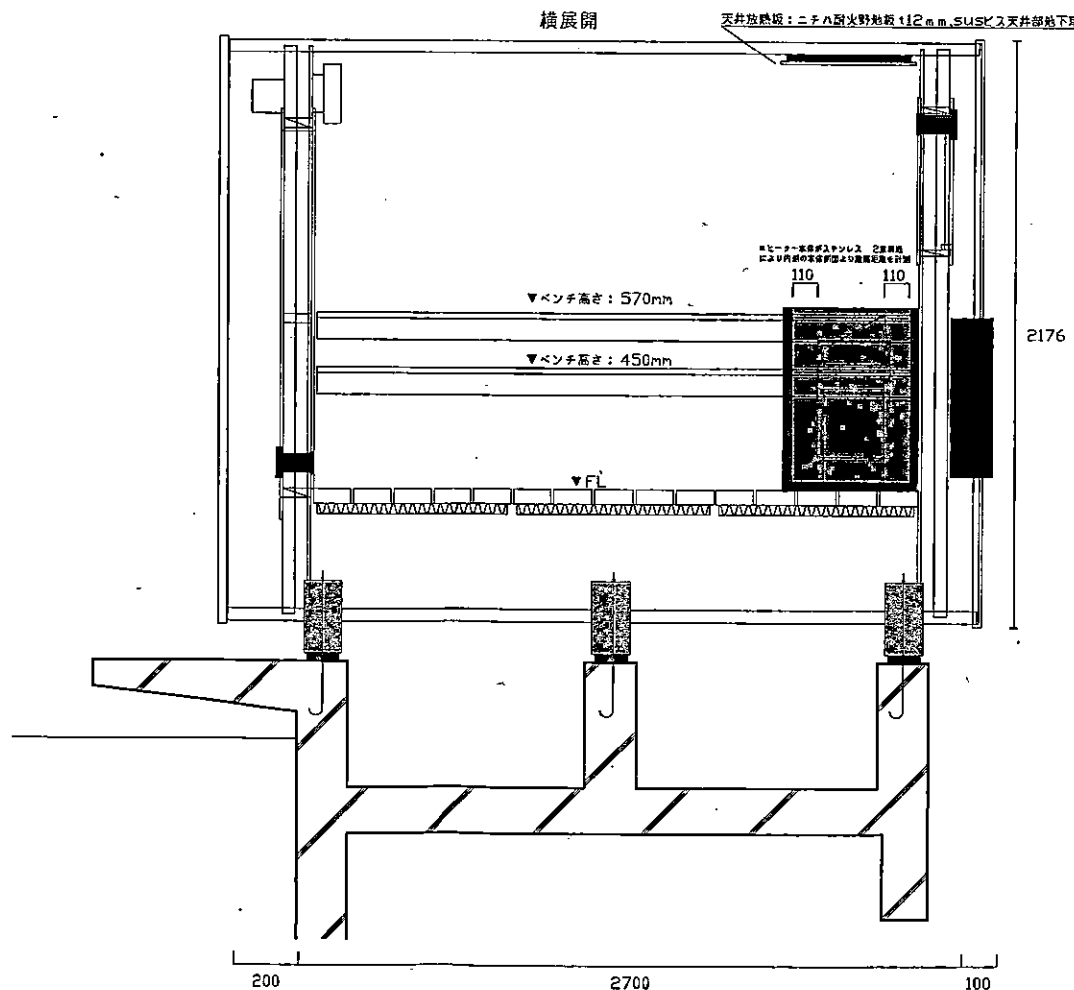
東(隣家)側立面図



土台部：防腐処理105×105材3本ボルト接合



※ヒーター本体がステンレス 2重構造



【特記事項】  
標準時は屋根骨き材 (710214) までとし、表面の意匠仕上げは別渡しとし、費用を見込むこと。

形状外部・天井	珪砂加工 38mm
縦断外部	珪砂加工 40mm 外部塗材
縦断内部	珪砂加工 18mm 珪砂加工
屋根材	珪砂加工 15mm
断熱材1	外周部 耐火断熱アストロフェイル アストロ-E 14mm
断熱材2	内壁 耐火断熱ネオマフォーム 20mm
ヒーター下台	耐火野地板 25mm 珪砂加工
ヒーターガード	耐火野地板 25mm 珪砂加工
天井放熱板	ニチハ耐火野地板 12mm, SUSビス天井部地下取付
ベンチ座面	珪砂加工 18mm 目透かし張り ※常時固定。メンテナンス時には容易に外せること
ベンチ下地	珪砂加工 珪砂加工 2×4
床	珪砂加工 38mm 目透かし張り スノコ形状 ヒーター下以外珪砂加工
給気口	100φSUS管 室外側丸型フード付きガタリ防虫網付 室内側丸型レジスター防虫網付
ドア	枠：珪砂加工板 27mm 扉：珪砂加工 珪砂加工 25mm・15mmのフラッシュ フ7厚40mm ガラス：耐熱複層ガラス 16mm 珪砂加工シリコン充填 丁番：オートヒンジ 取手：外部 木製取手 取付金物 SUS珪砂加工品 内部 木製取手
外部照明	KOIZUMI AU40266L100V 4.4W E17 LED オリジナル BURROWロゴ入り木製カバー付
内部照明	Panasonic NLG86464 100V 40W E17 白熱 珪砂加工用

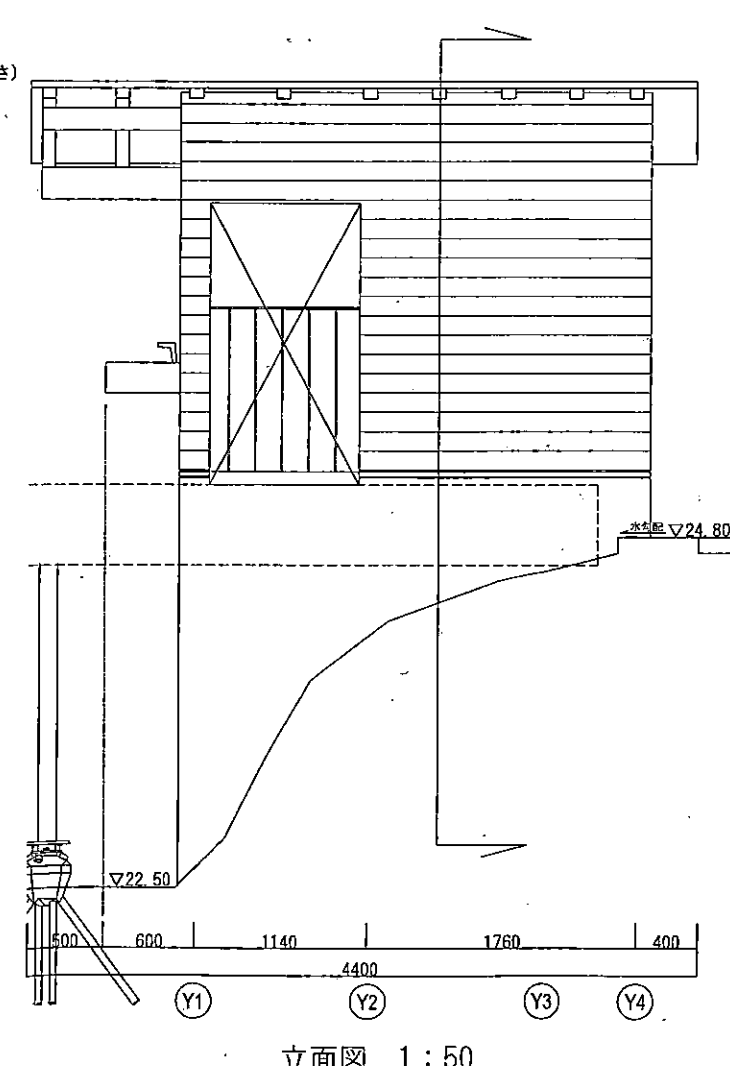
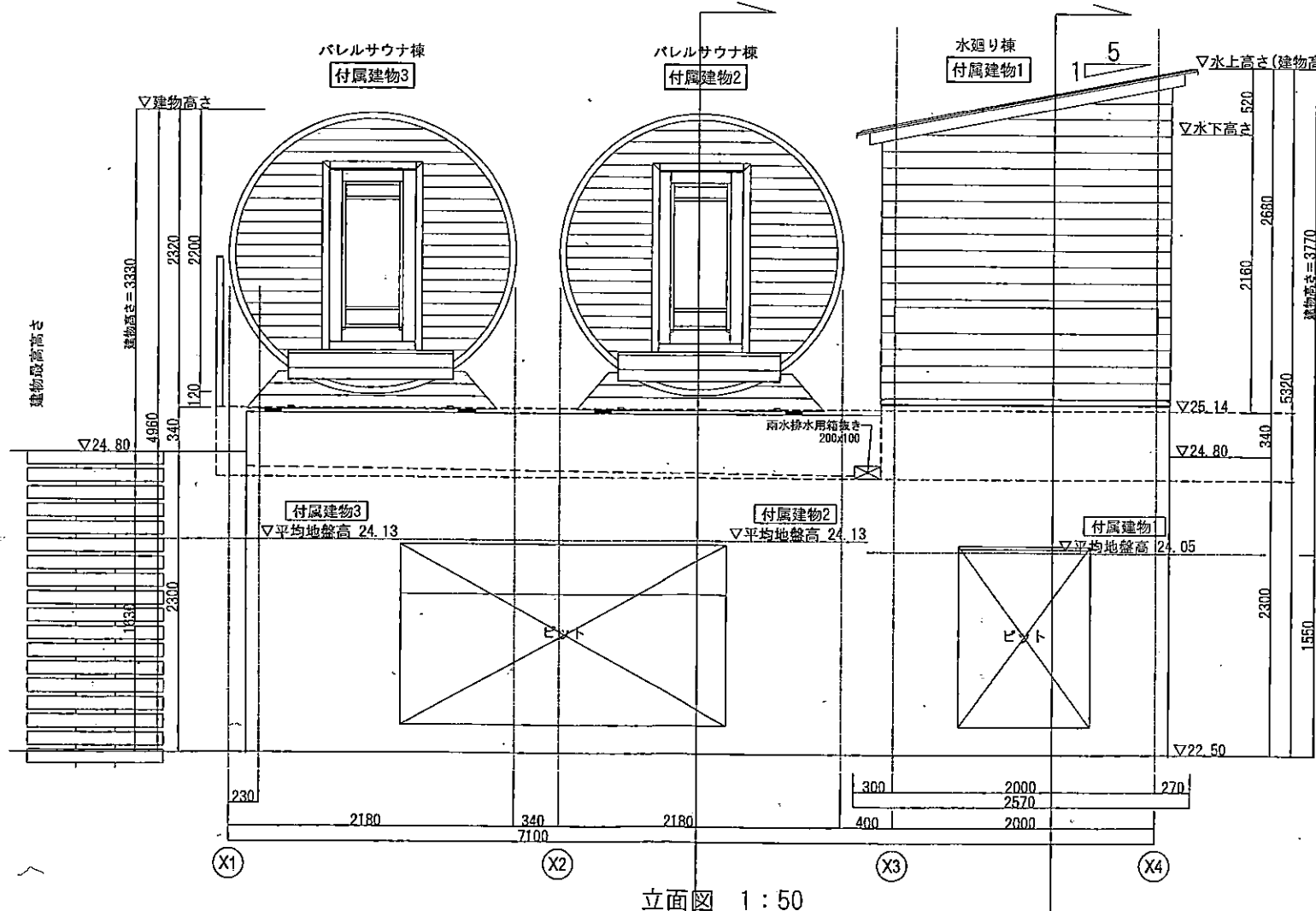
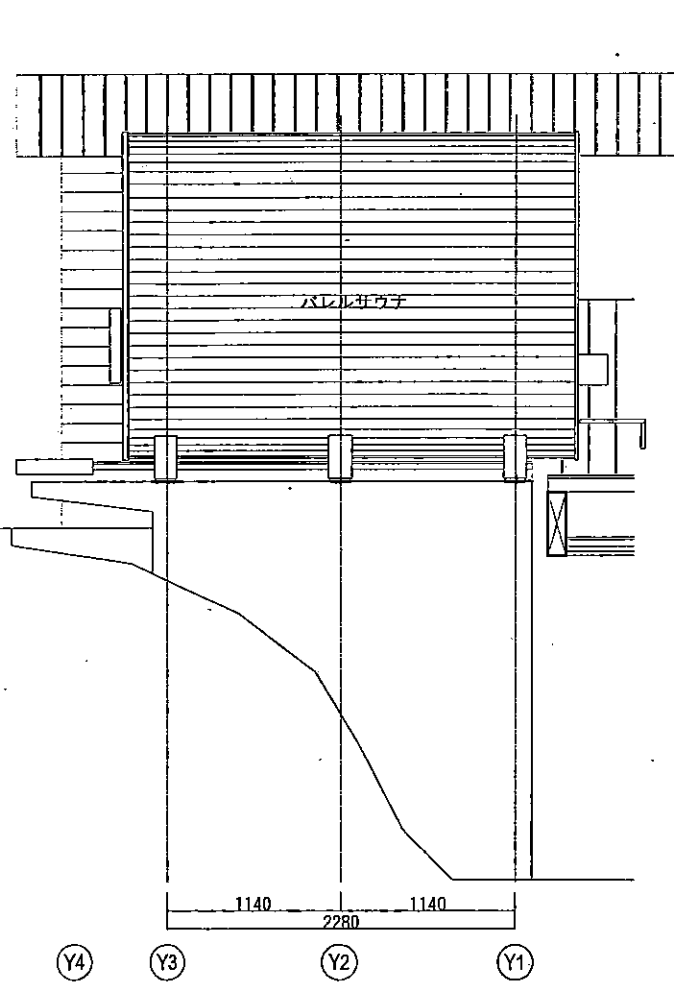
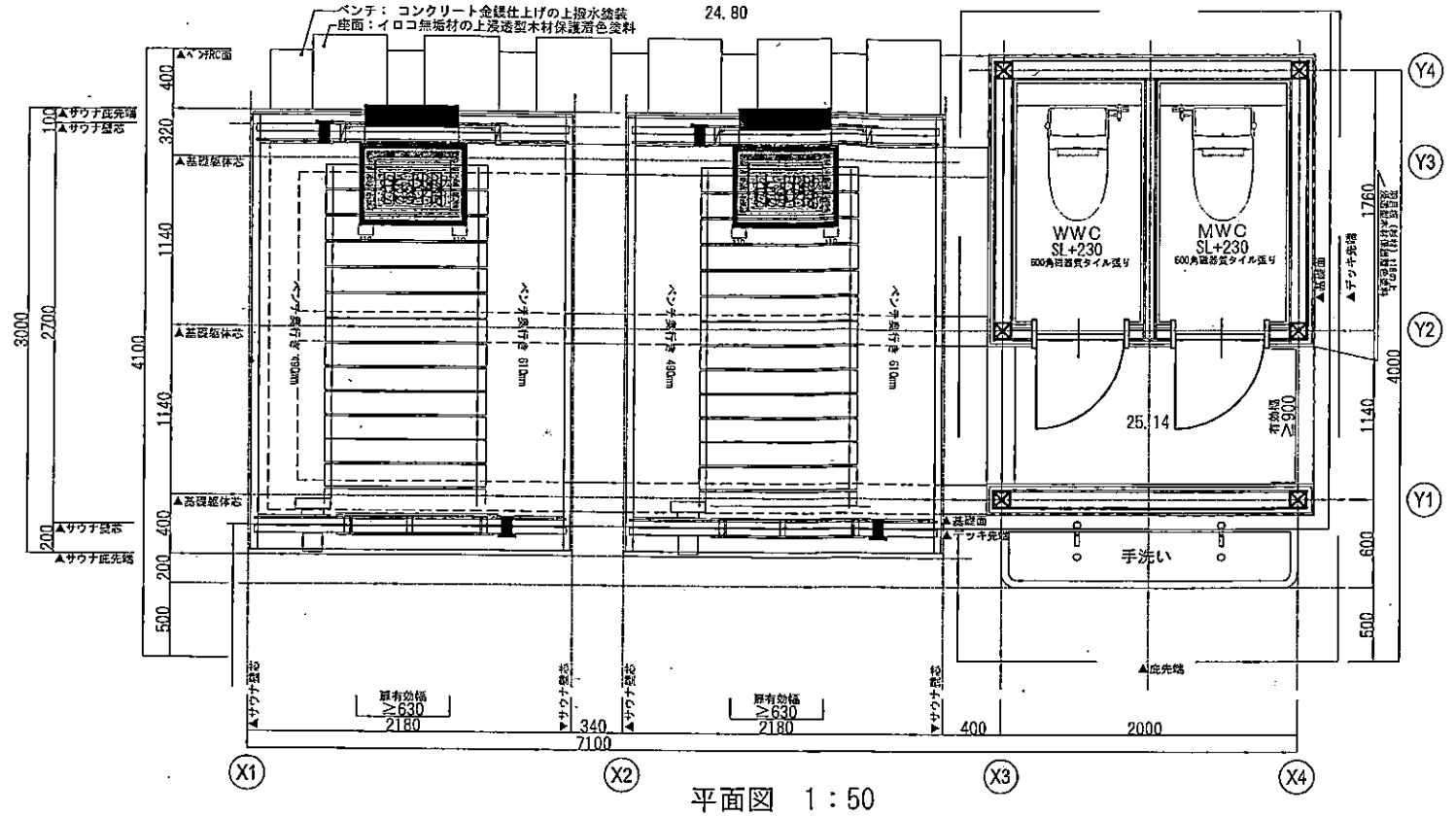
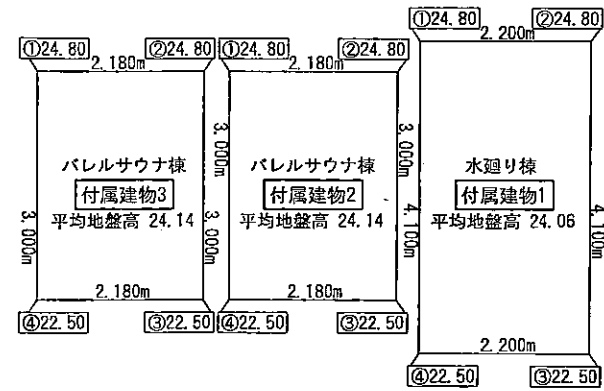
BURROW3本体総重量：約 1200kg

BURROW3 茨城木工株式会社

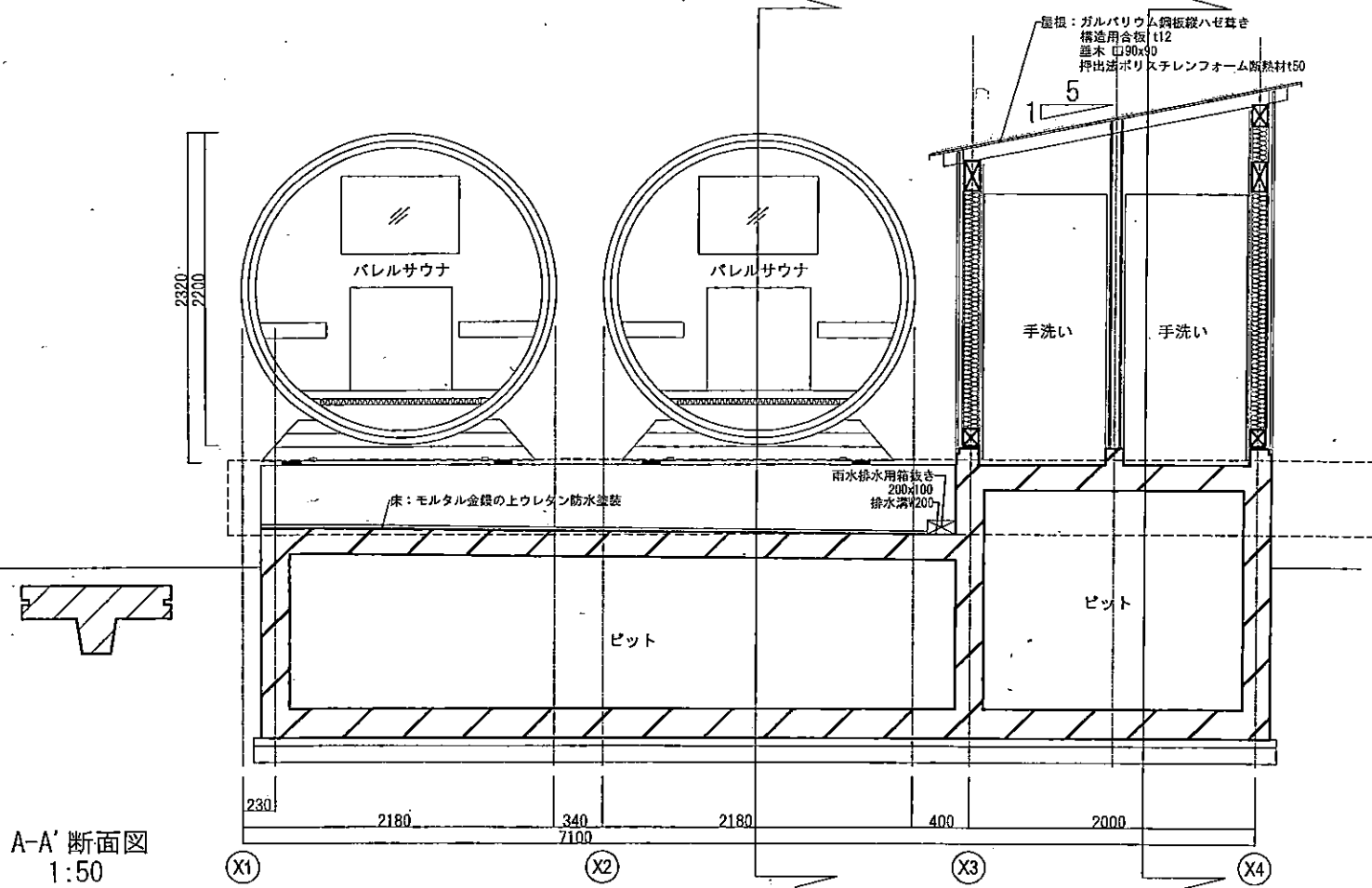
平均地盤算定【付属建物1】				
	長さ	平均高さ	高さ	長さx高さ
①-②	2.200	24.8000		54.064000
②-③	4.1000	23.6500		96.965000
③-④	2.2000	24.8000		54.064000
④-①	4.1000	23.6500		70.950000
計	12.60000	24.133977	【付属建物1】 平均地盤高さ	250.028000

平均地盤算定【付属建物2】				
	長さ	平均高さ	高さ	長さx高さ
①-②	2.1800	24.8000		54.064000
②-③	3.0000	23.6500		70.950000
③-④	2.1800	24.8000		54.064000
④-①	3.0000	23.6500		70.950000
計	10.36000	24.133977	【付属建物2】 平均地盤高さ	250.028000

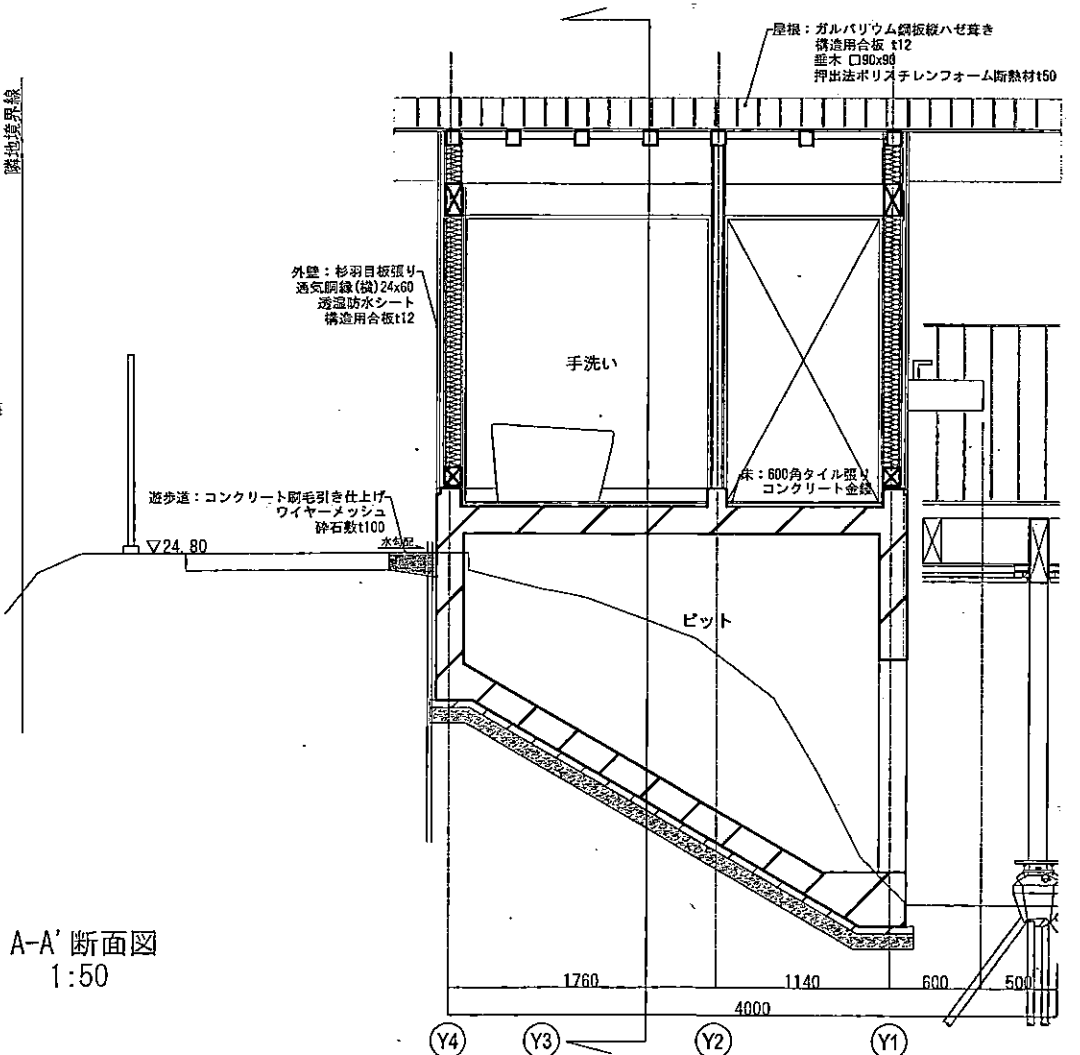
平均地盤算定【付属建物3】				
	長さ	平均高さ	高さ	長さx高さ
①-②	2.1800	24.8000		54.064000
②-③	3.0000	23.6500		70.950000
③-④	2.1800	24.8000		54.064000
④-①	3.0000	23.6500		70.950000
計	10.36000	24.133977	【付属建物3】 平均地盤高さ	250.028000



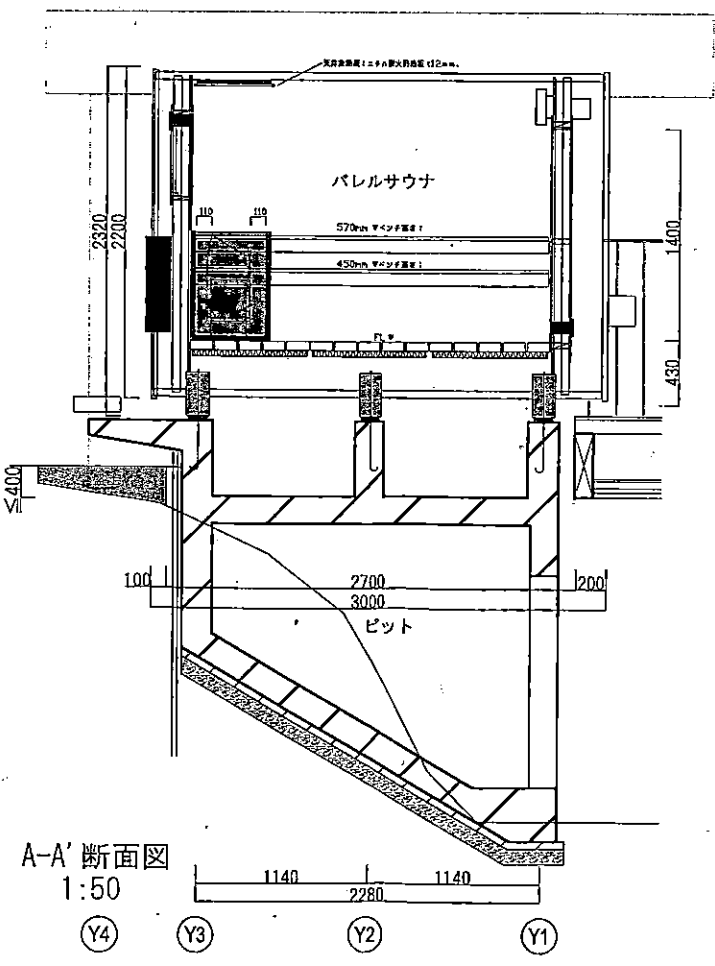




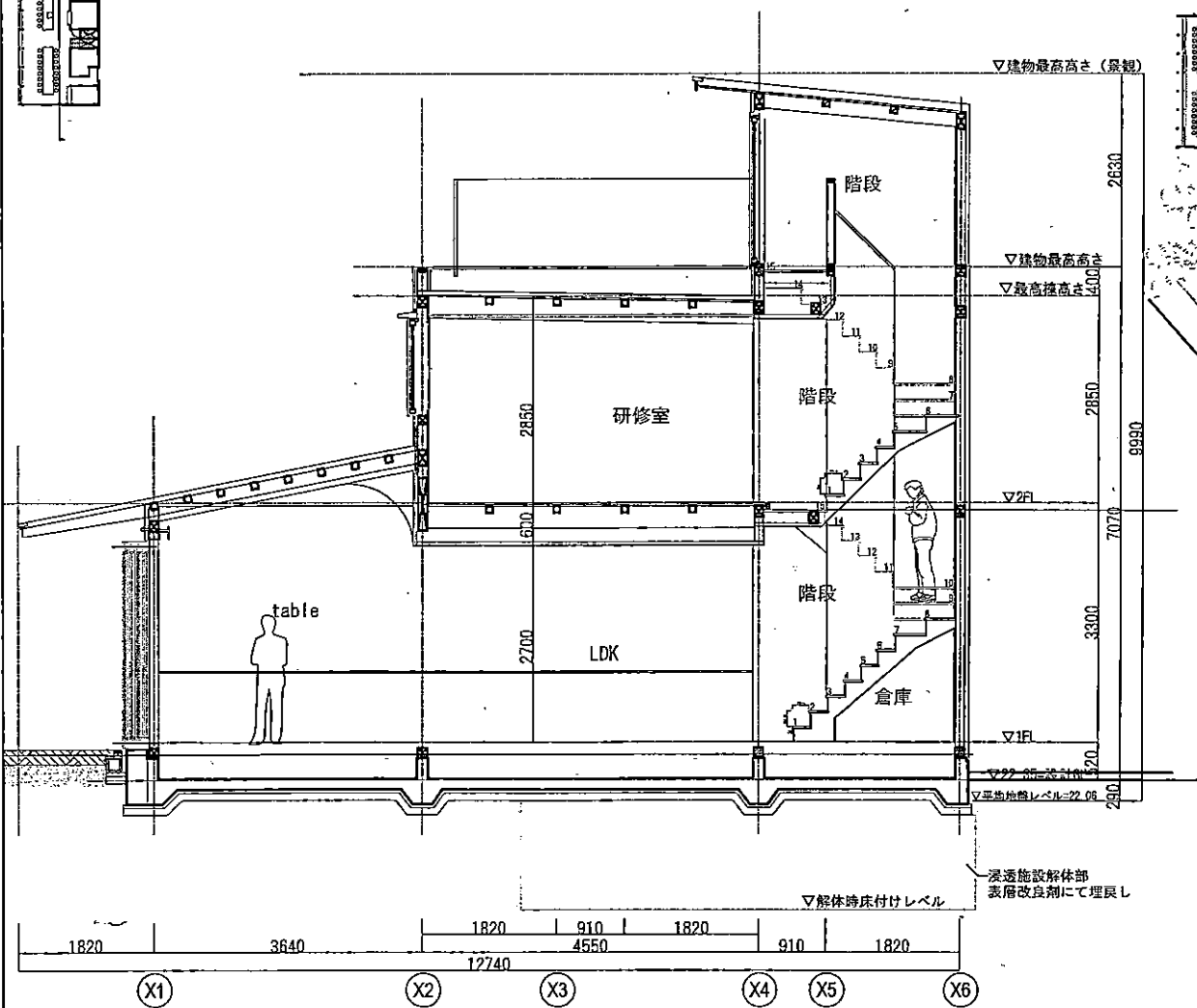
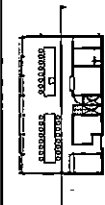
A-A' 断面図  
1:50



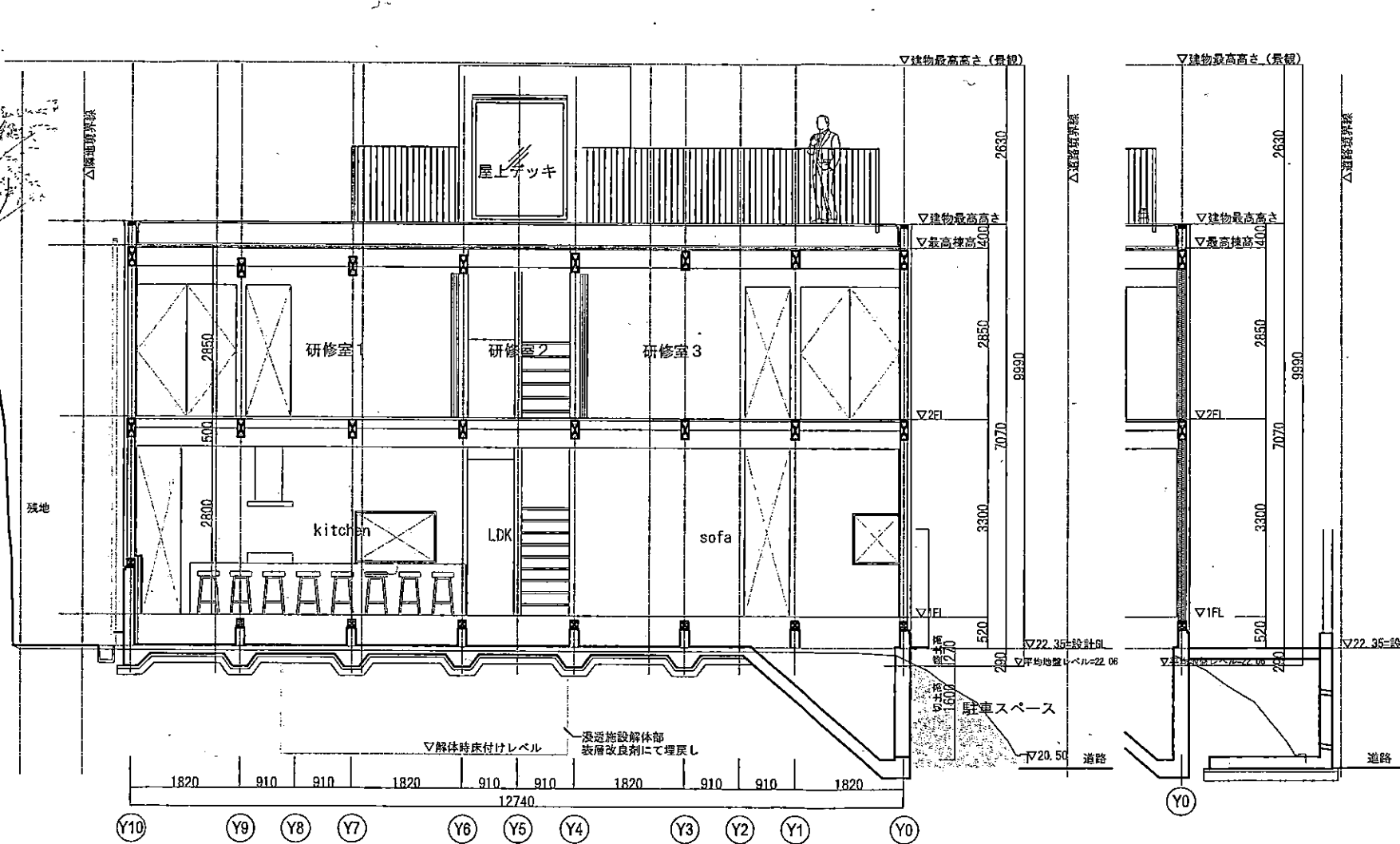
A-A' 断面図  
1:50



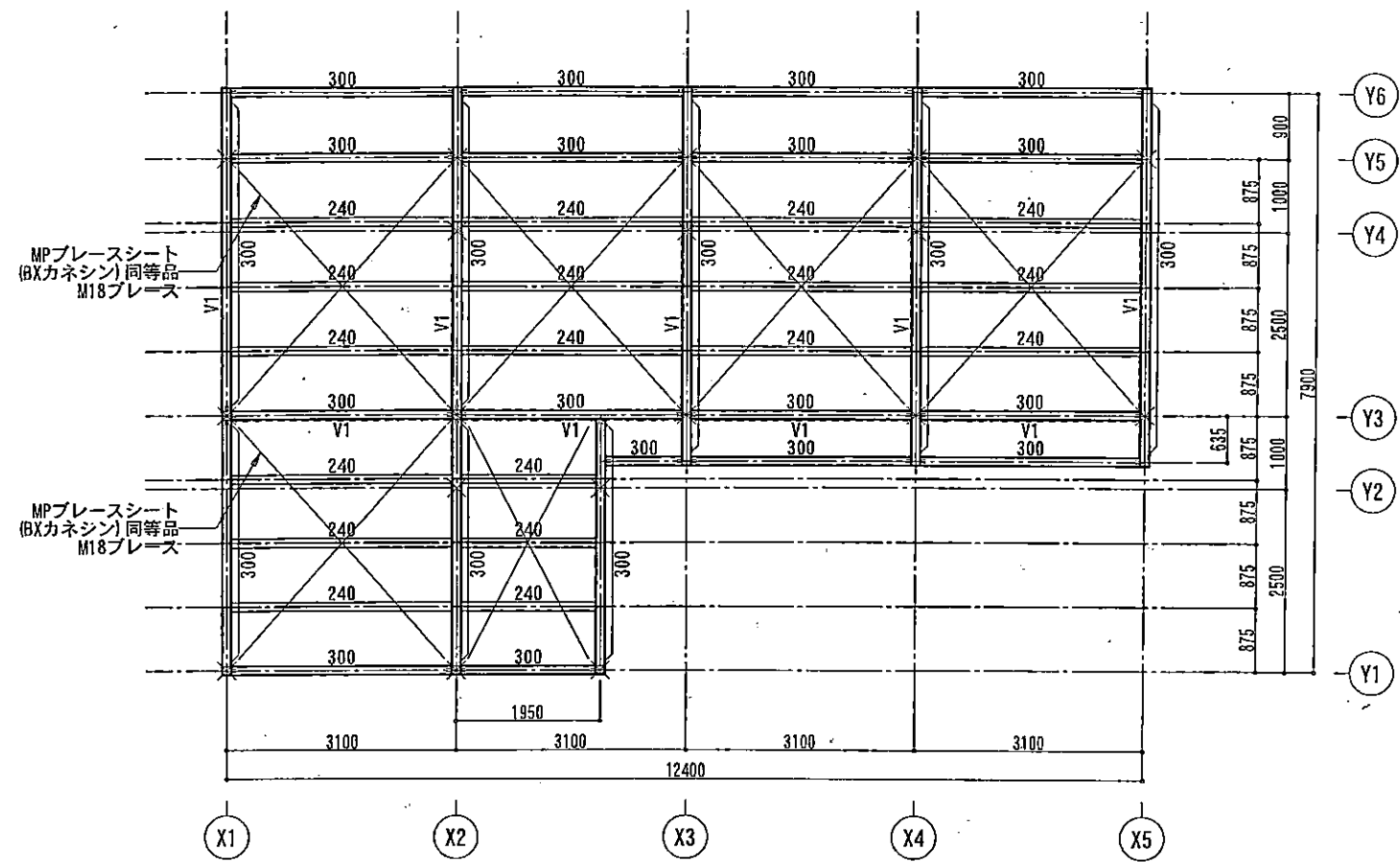
A-A' 断面図  
1:50



B-B' 断面図

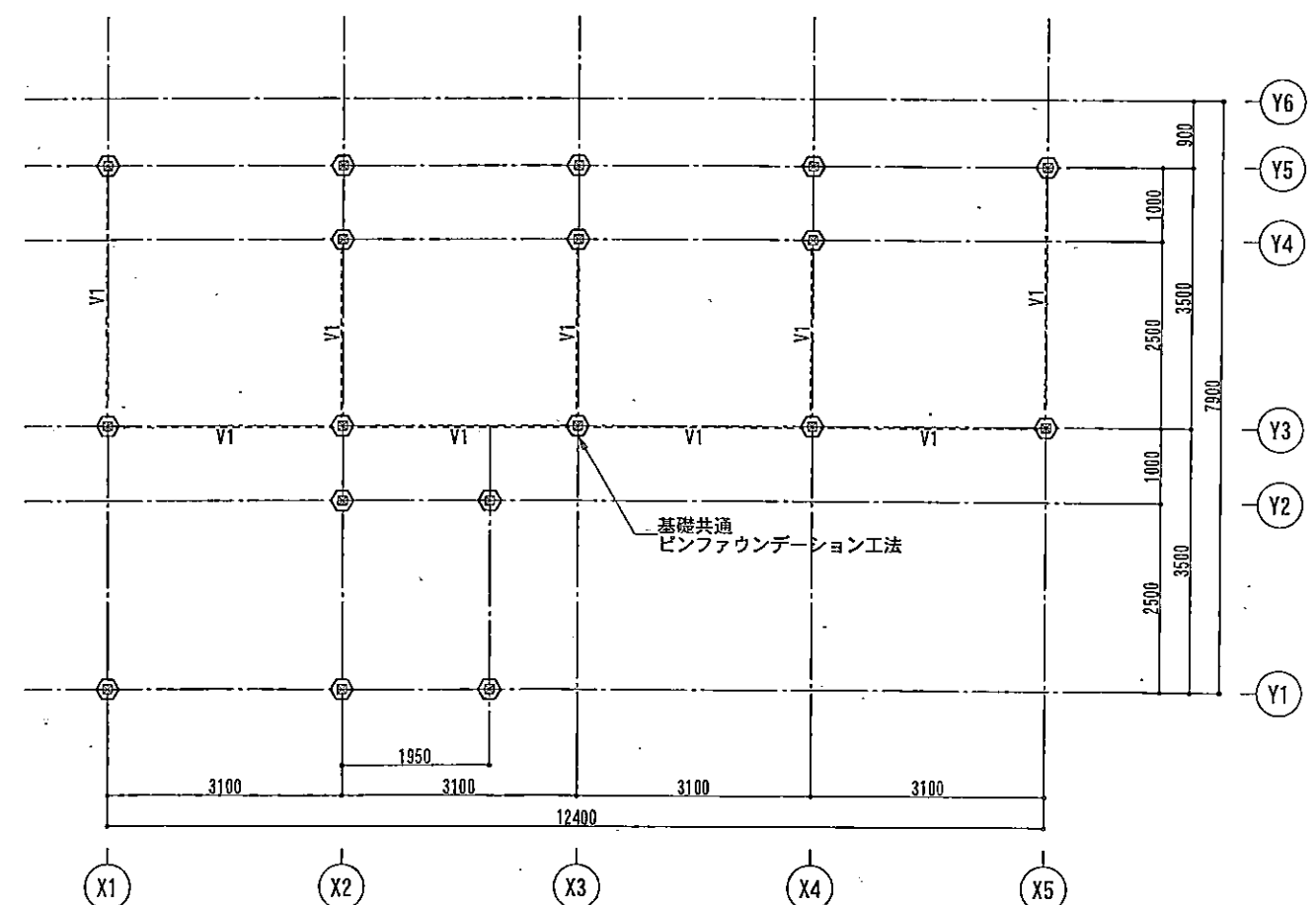


C-C' 断面図

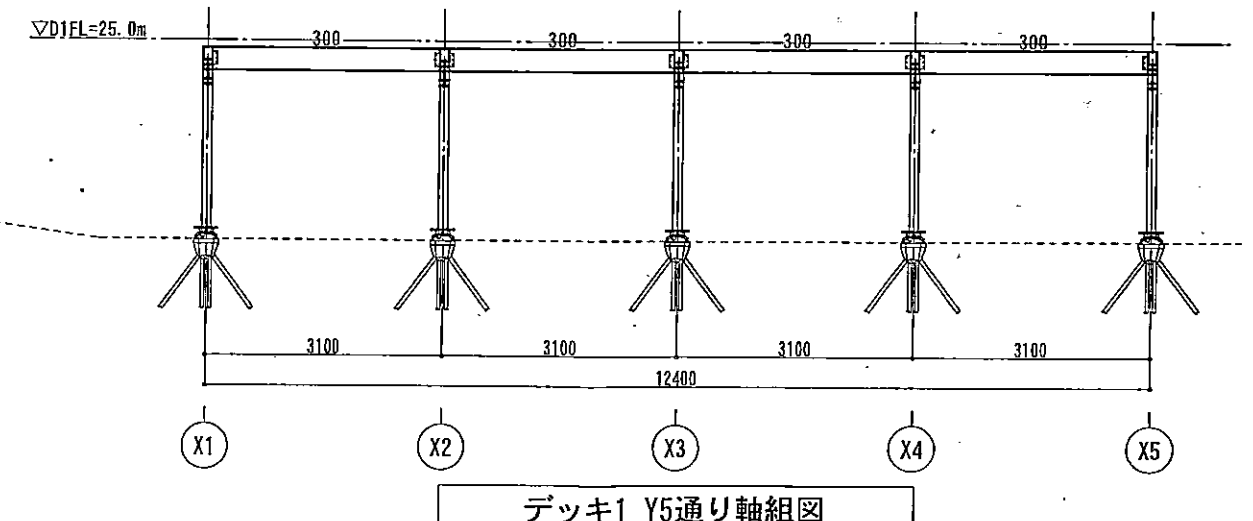
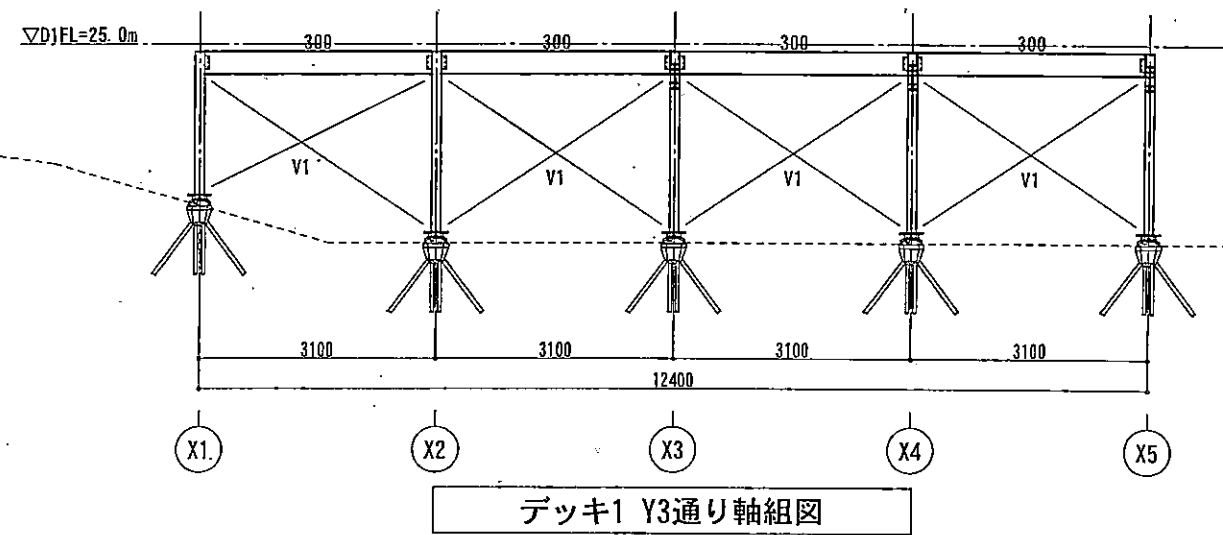
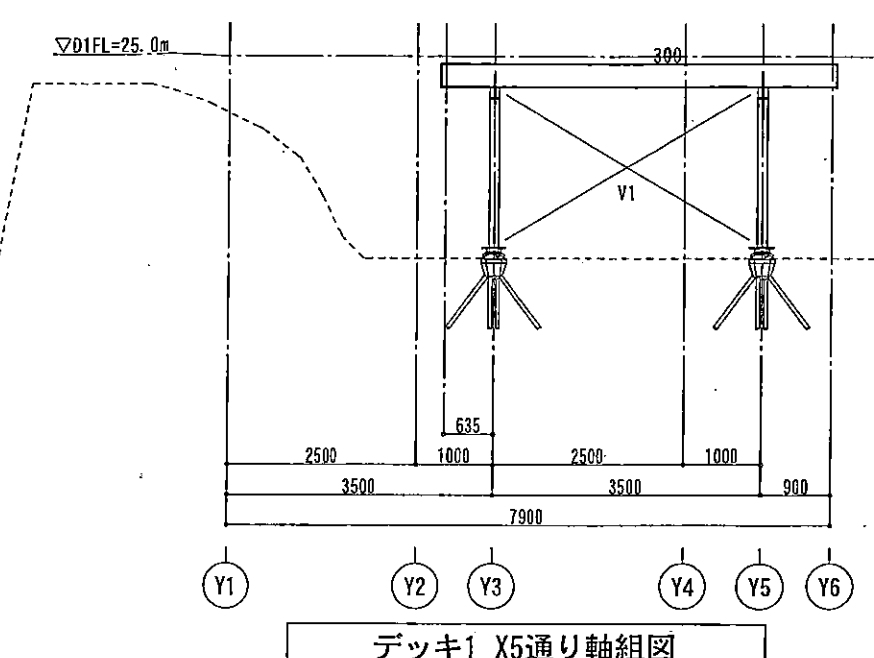
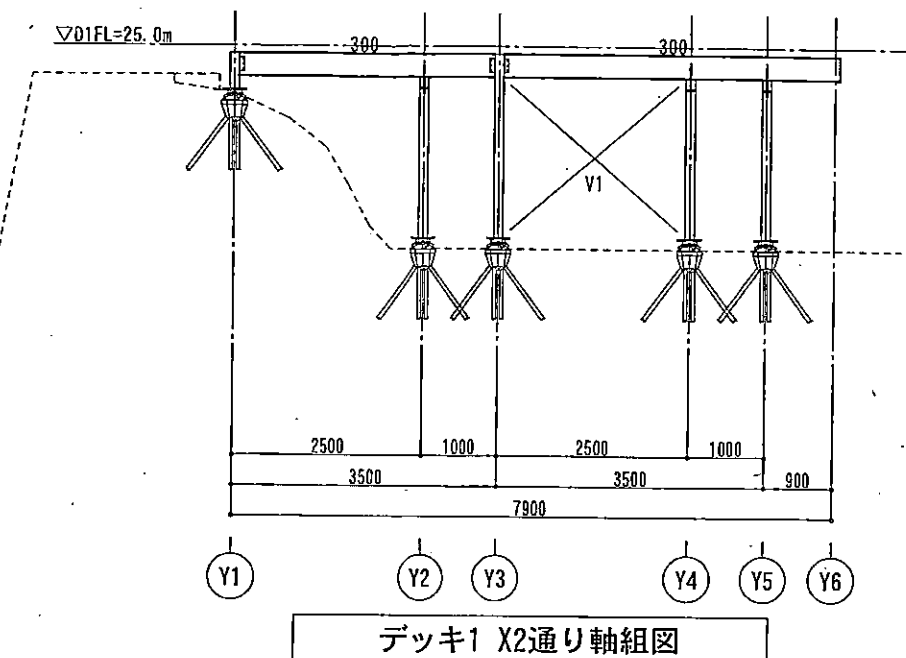
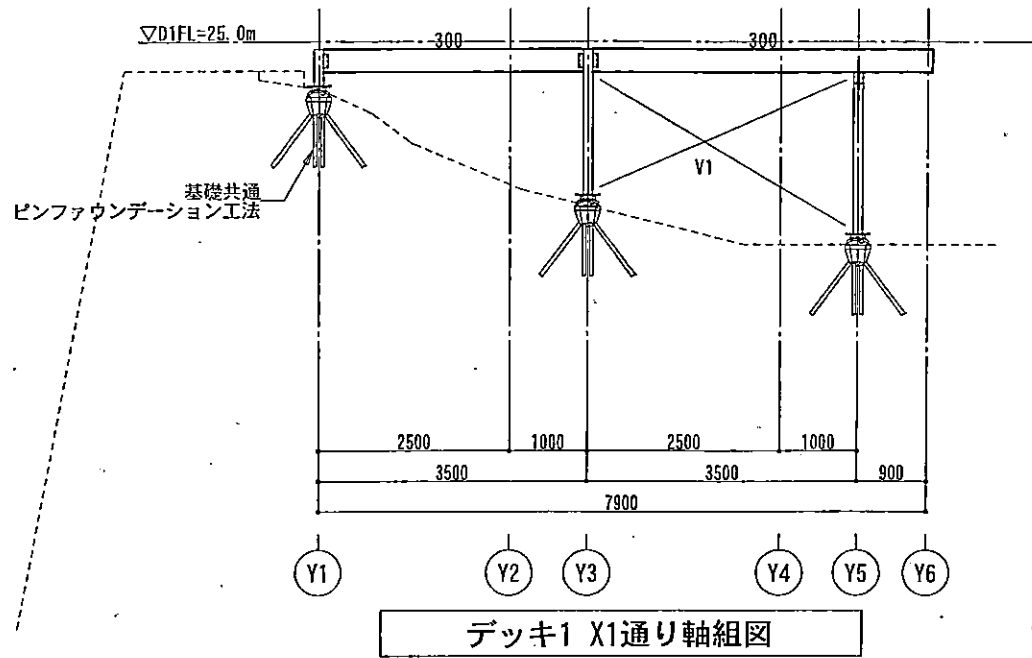


デッキ1 床伏図

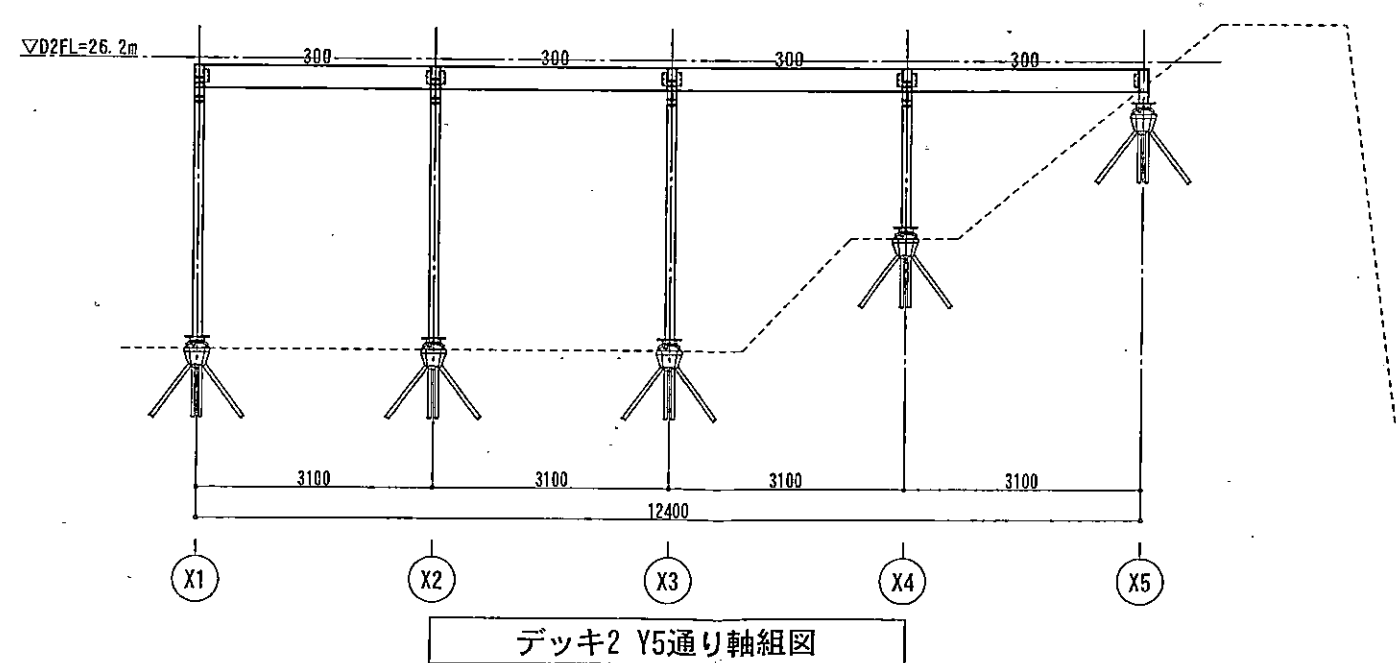
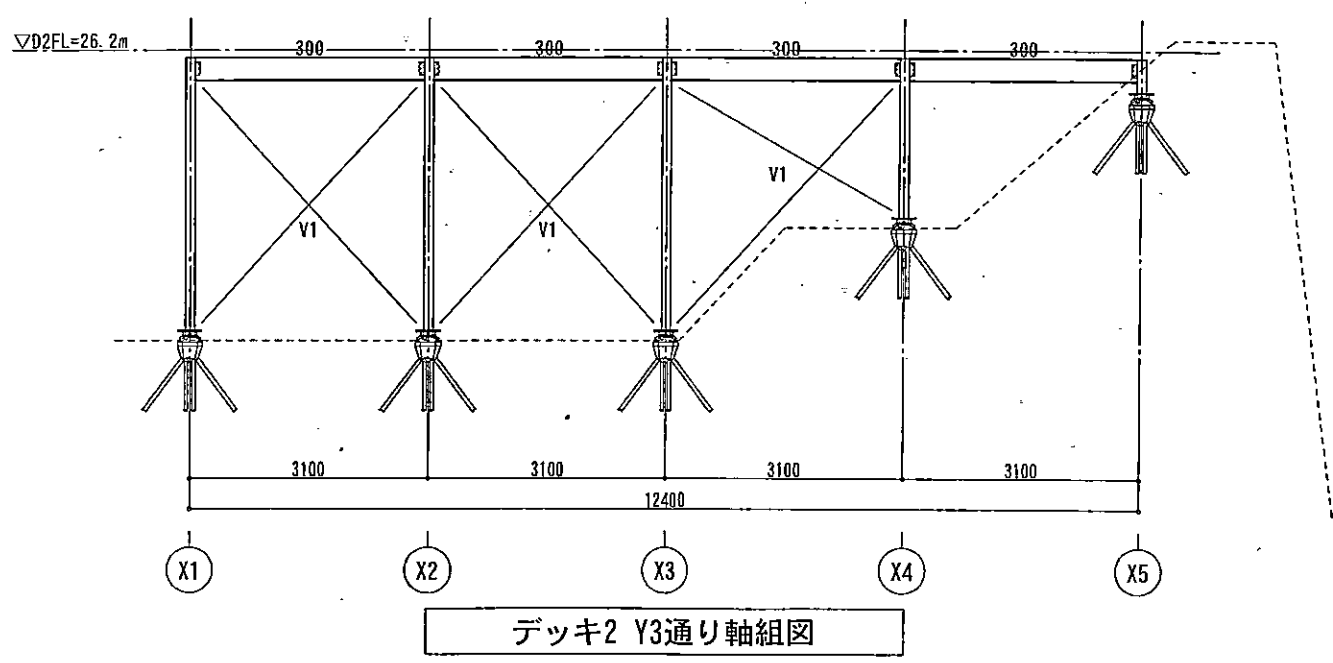
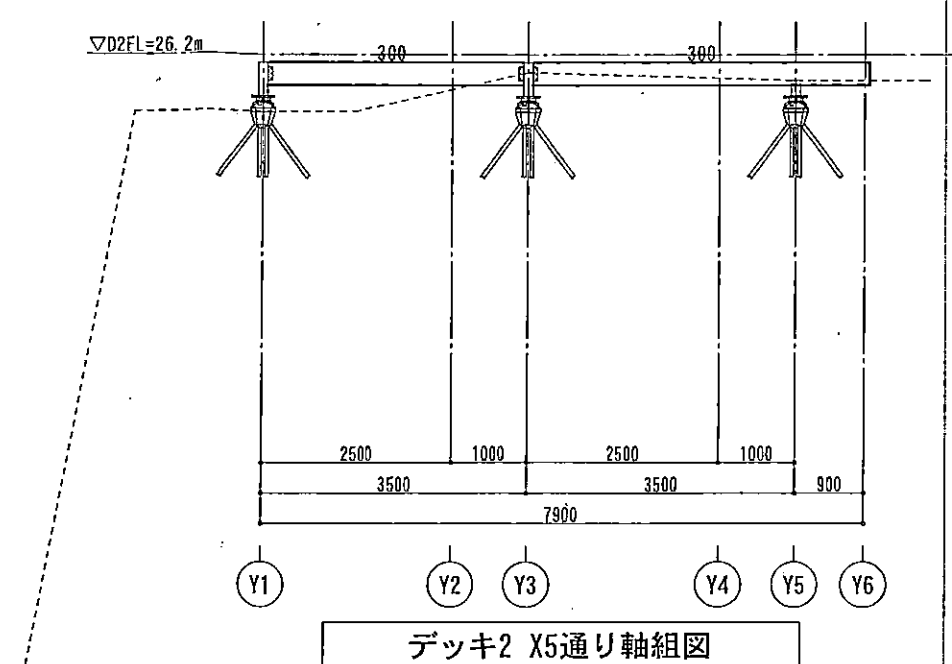
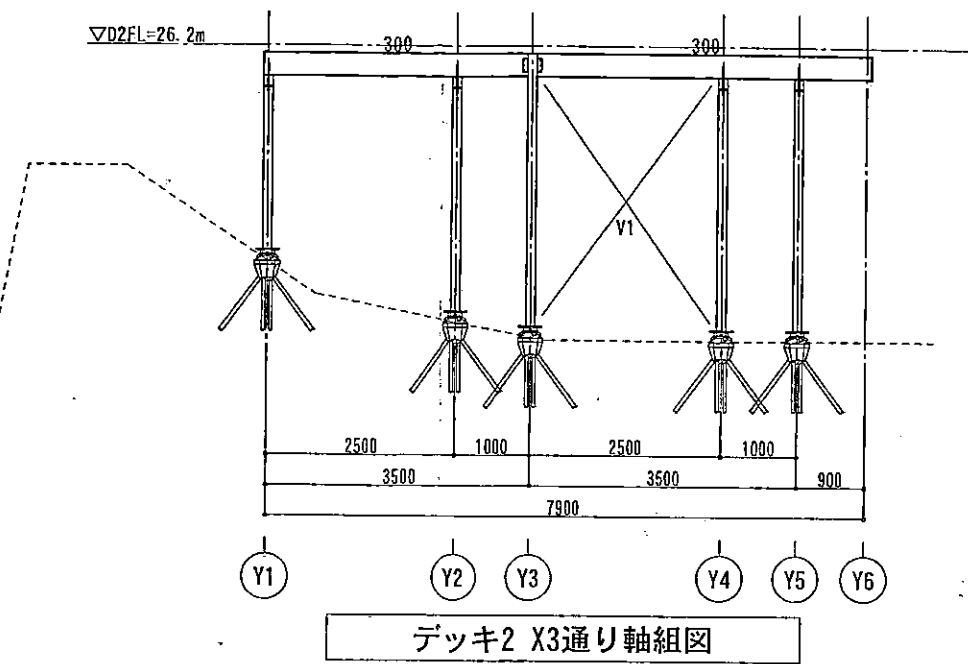
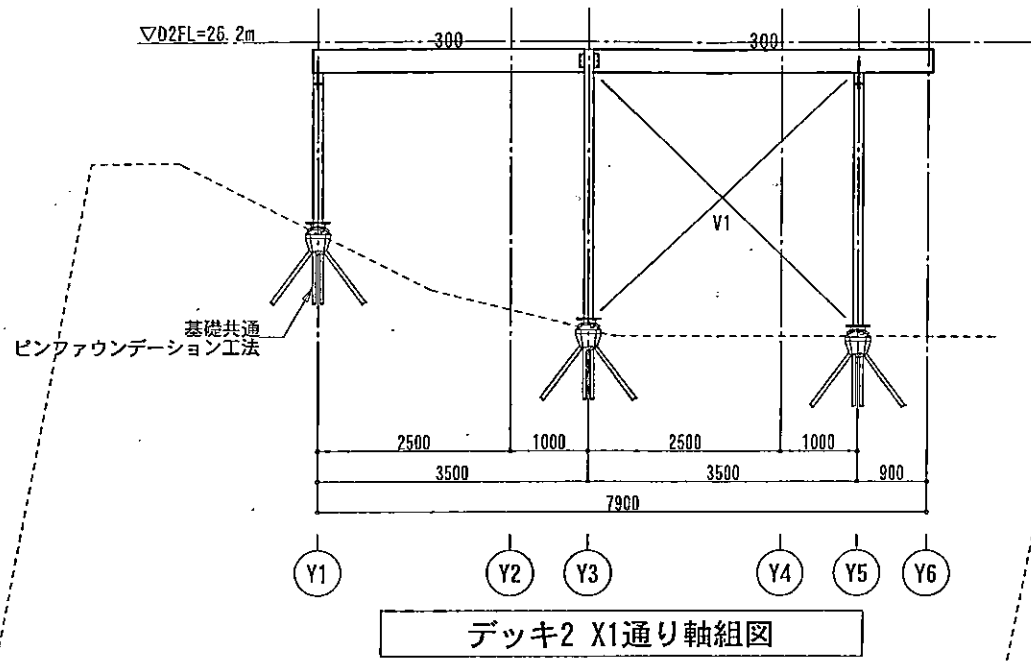
- 共通事項
- 1) □ 無印柱：柱120x120 (ヒノキ)
  - 2) × : 下階柱位置を示す
  - 3) 特記なき限り梁幅は120、梁の数値は梁せいを示す
  - 4) 梁材種：ベイマツ
  - 5) [柱-梁] [梁-梁] 接合部は 金物工法プレセッターSU による
  - 6) V1 : 鉛直ブレース 1-M16 ×型



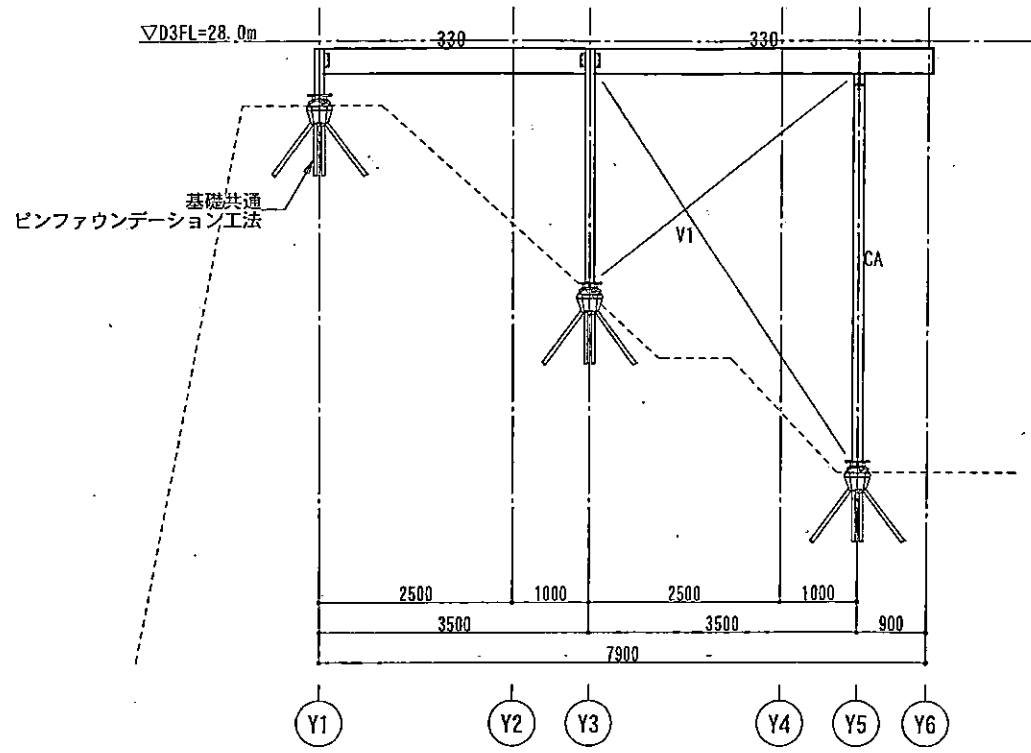
デッキ1 基礎伏図



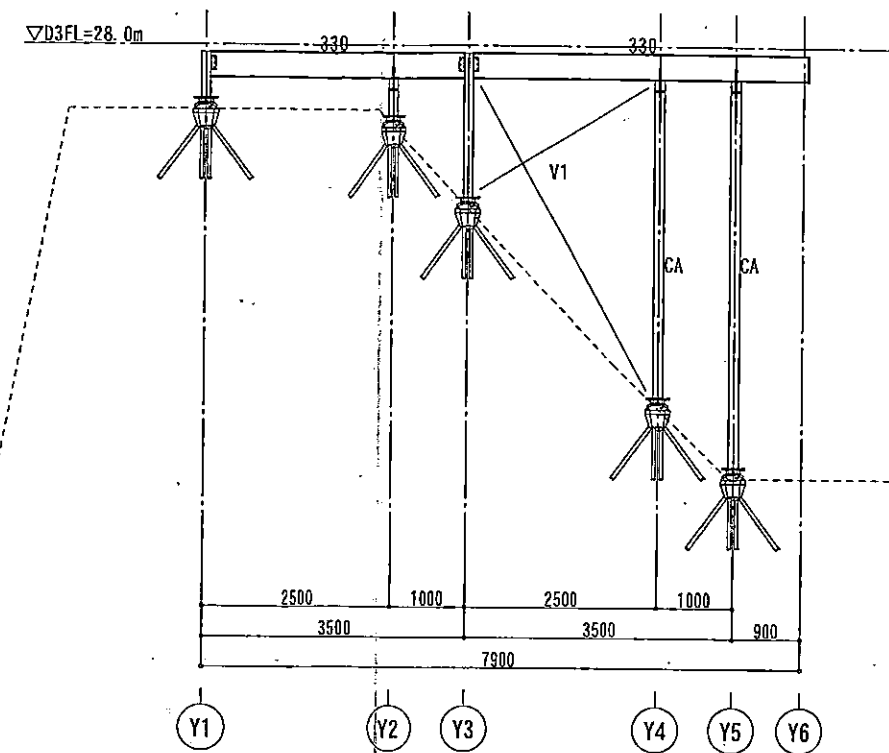
- 共通事項
- 1) 無印柱：柱120x120 (ヒノキ)
  - 2) 特記なき限り梁幅は120、梁の数値は梁せいを示す
  - 3) 梁材種：ベイマツ
  - 4) [柱-梁] [梁-梁] 接合部は 金物工法プレッサーSU による
  - 5) V1：鉛直ブレース 1-N16 ×型
  - 6)



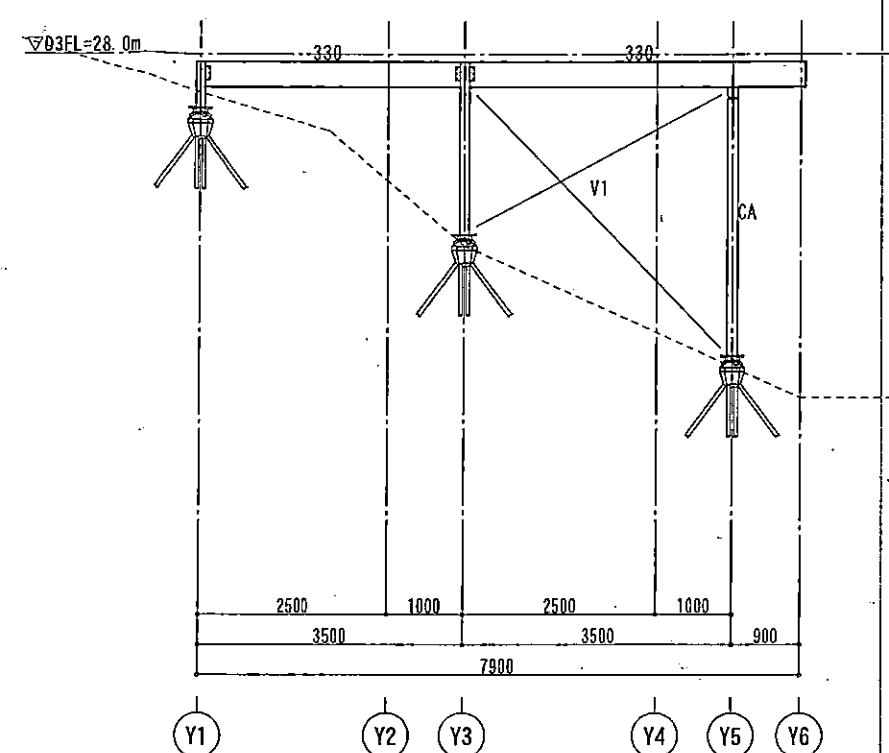
- 共通事項
- 1) 無印柱：柱120x120 (ヒノキ)
  - 2) 特記なき限り梁幅は120、梁の数値は梁せいを示す
  - 3) 梁材種：ベイマツ
  - 4) [柱-梁] [梁-梁] 接合部は 金物工法プレセッターSU による
  - 5) V1：鉛直ブレース 1-M16 ×型
  - 6)



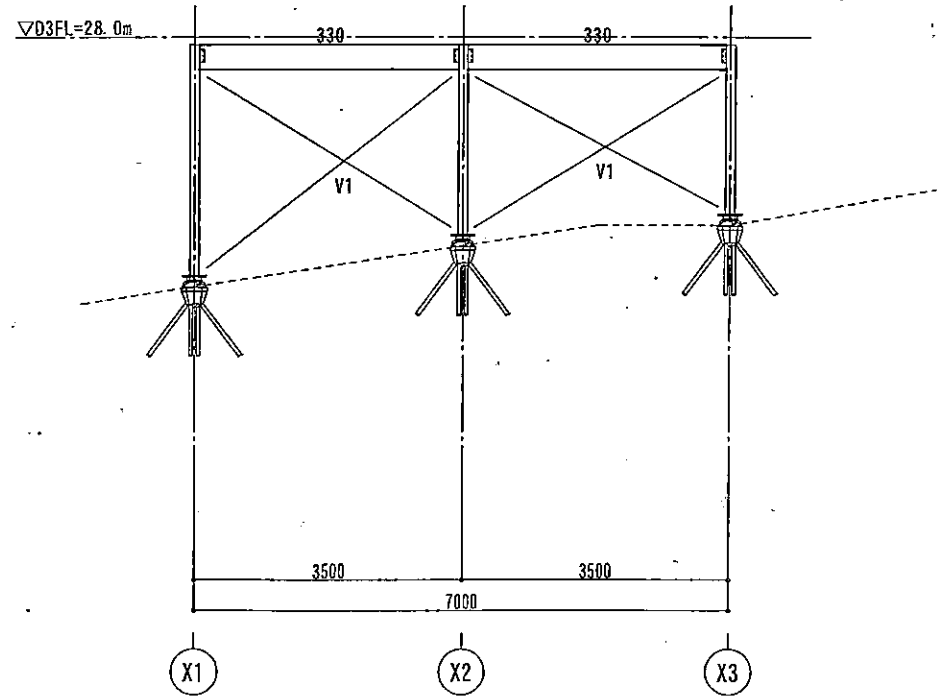
デッキ3 X1通り軸組図



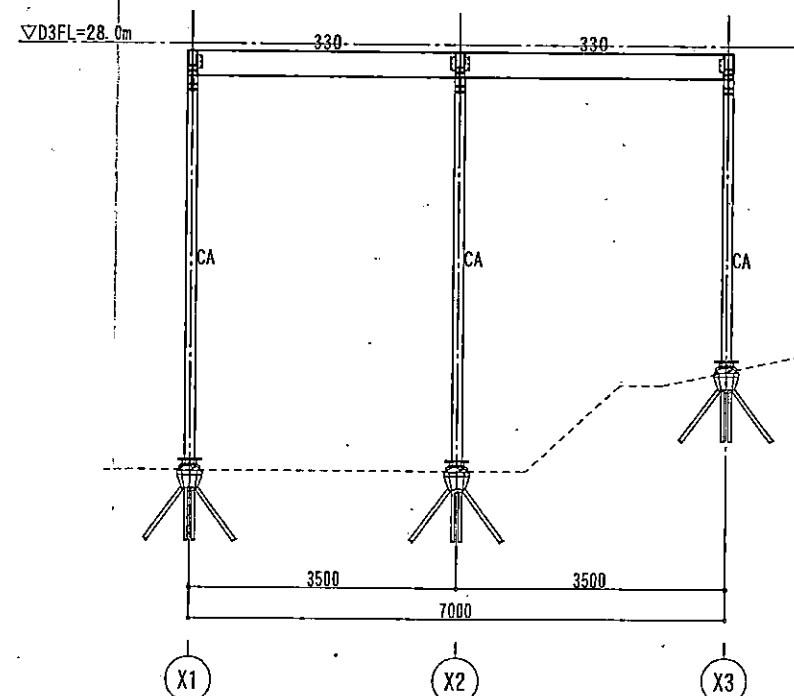
デッキ3 X2通り軸組図



デッキ3 X3通り軸組図

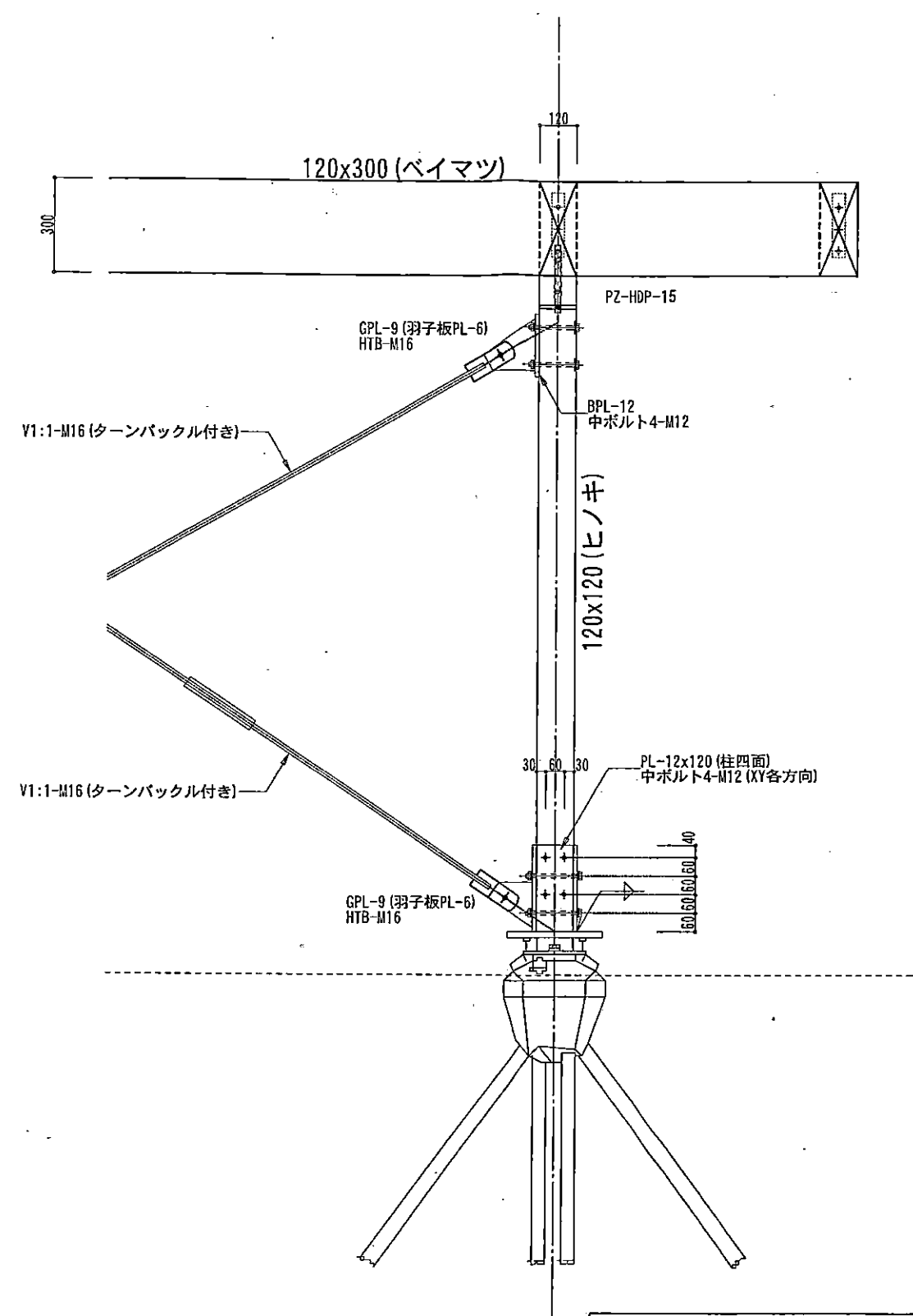
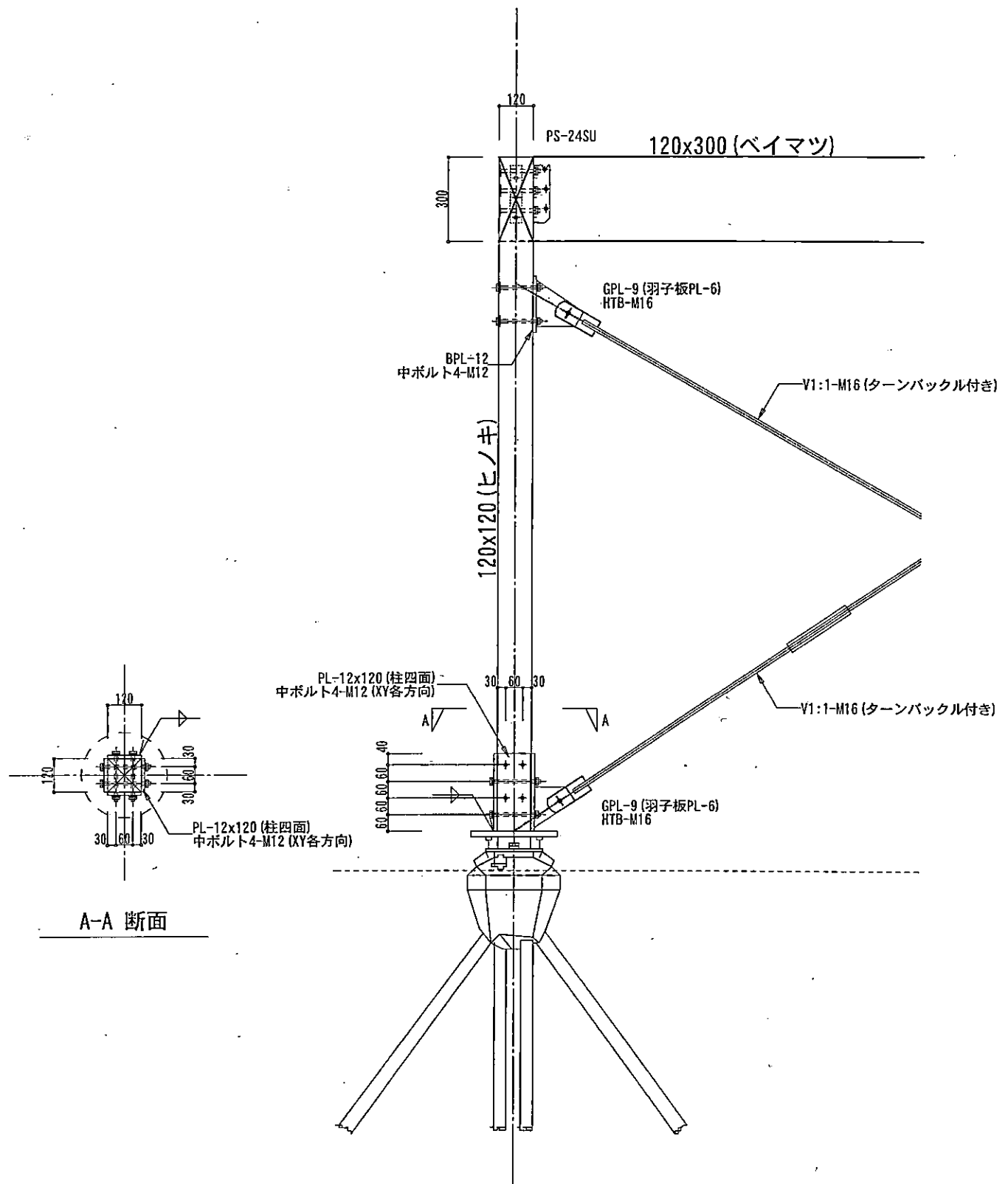


デッキ3 Y3通り軸組図



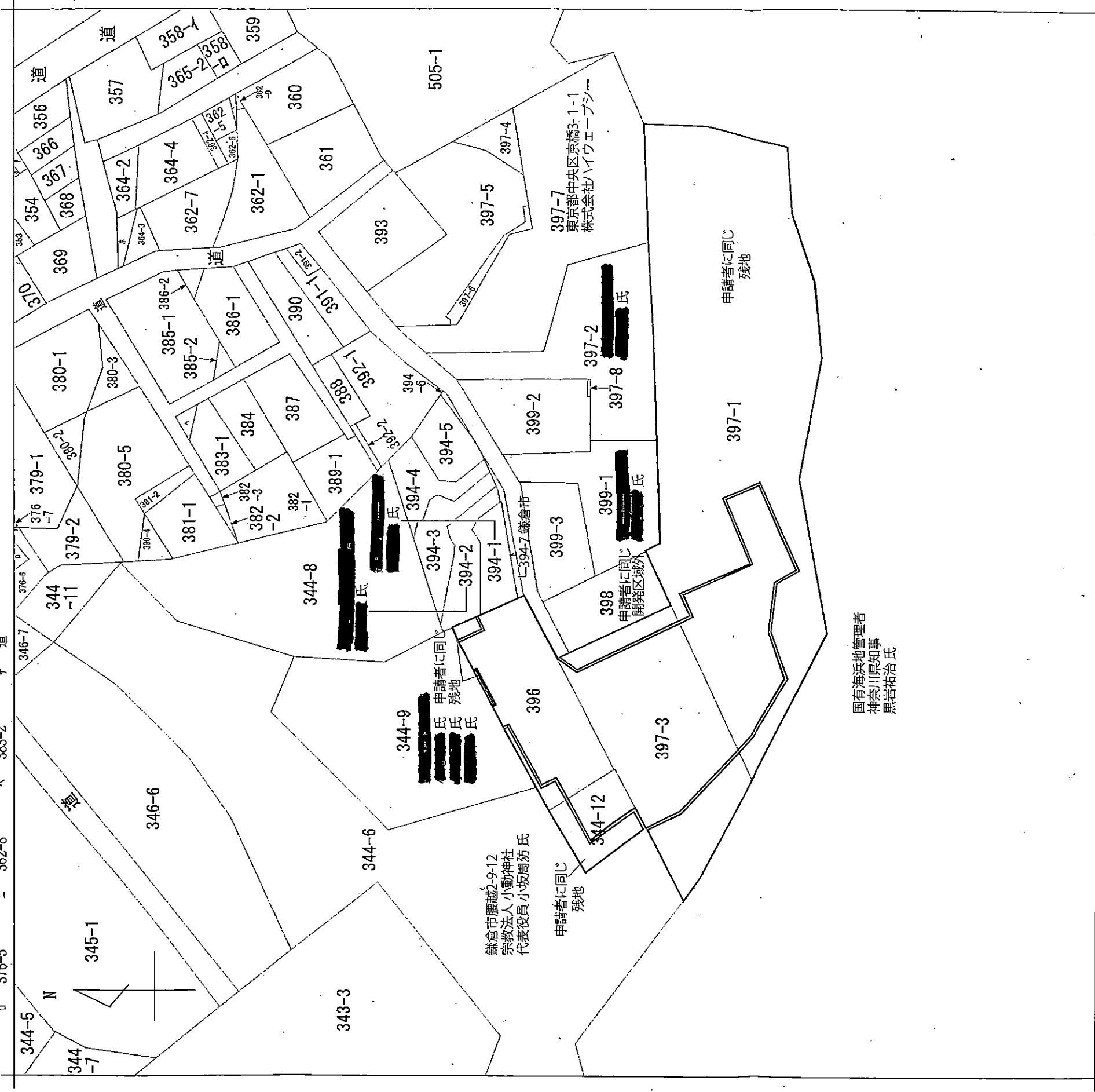
デッキ3 Y5通り軸組図

- 共通事項
- 1) 無印柱：柱120x120 (ヒノキ)
  - 2) 特記なき限り梁幅は120、梁の数値は梁せいを示す
  - 3) 梁材種：ベイマツ
  - 4) [柱-梁] [梁-梁] 接合部は 金物工法プレセッターSU による
  - 5) V1：鉛直ブレース 1-M16 ×型
  - 6) CA：柱135x135 (ヒノキ)



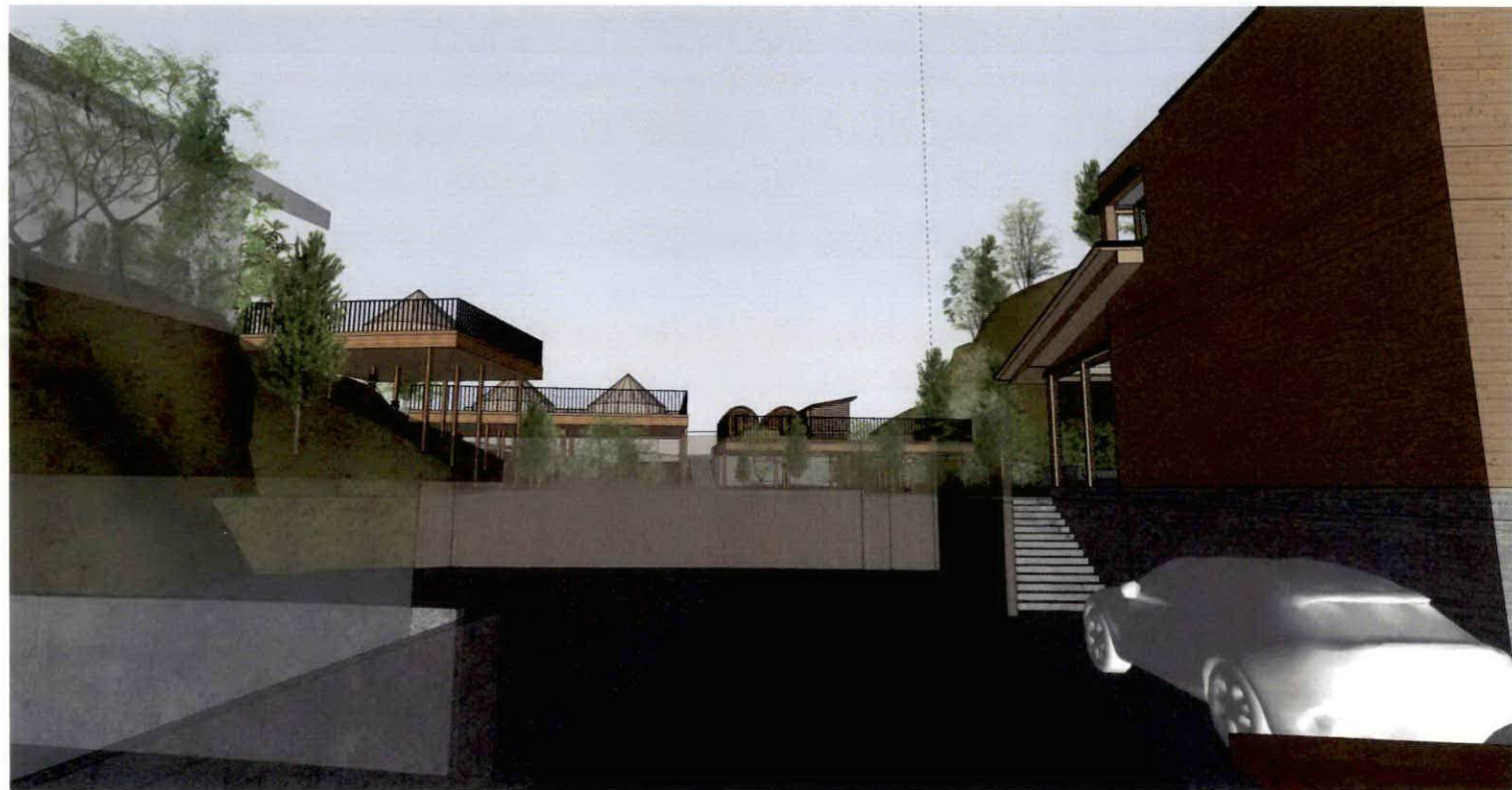
- 共通事項
- 1) [柱-梁] [梁-梁] 接合部は 金物工法プレセッターSU による
  - 2) 鉄骨材 (GPL, BPL, プレース) : SS400 (溶融亜鉛メッキ)
  - 3) 高力ボルト : S8T (溶融亜鉛メッキ)
  - 4) 中ボルト : 溶融亜鉛メッキ

イ 355 376-9 364-1 394-7  
ロ 376-5 362-8 383-2 道  
ハ 376-7 346-7 376-6 道  
ニ 376-8 344-11 379-2 379-1 376-9 道  
ホ 376-5 344-8 380-5 380-3 380-1 376-6 道  
ヘ 376-5 344-8 380-5 380-3 380-1 376-6 道  
ト 376-5 344-8 380-5 380-3 380-1 376-6 道  
チ 376-5 344-8 380-5 380-3 380-1 376-6 道  
リ 376-5 344-8 380-5 380-3 380-1 376-6 道  
ル 376-5 344-8 380-5 380-3 380-1 376-6 道  
レ 376-5 344-8 380-5 380-3 380-1 376-6 道  
ロ 376-5 344-8 380-5 380-3 380-1 376-6 道  
ハ 376-5 344-8 380-5 380-3 380-1 376-6 道  
ニ 376-5 344-8 380-5 380-3 380-1 376-6 道  
ホ 376-5 344-8 380-5 380-3 380-1 376-6 道  
ト 376-5 344-8 380-5 380-3 380-1 376-6 道  
チ 376-5 344-8 380-5 380-3 380-1 376-6 道  
リ 376-5 344-8 380-5 380-3 380-1 376-6 道  
ル 376-5 344-8 380-5 380-3 380-1 376-6 道



請求部	所在	鎌倉市腰越二丁目		地番	399番3	種類	旧土台帳附属地図
出力縮	1/600	精度分	座標系 番号又は 記号	分類	地図に準ずる図面	記項 補事	
作成年月日		備年月日 (原図)					





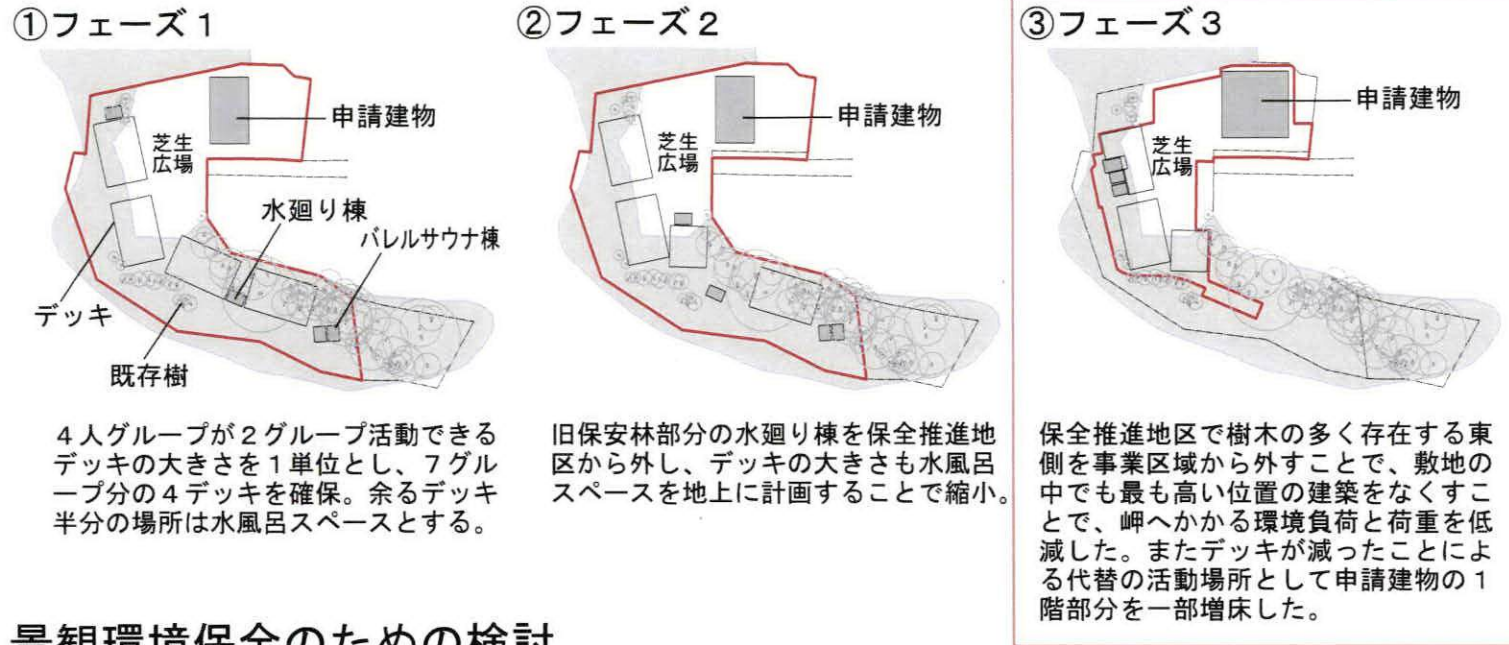
\* 旅館、塀を透明として描写



## 建物用途について

- 本建物の用途は宿泊を伴う企業研修施設（建築基準法上は寄宿舍（共同住宅））となります。
- ここで想定される建物の使い方は、特定の企業の社員研修として25人程度が一度に宿泊できる計画としております。また自然の中で研修ができるようデッキスペースを併設し、夜にはテント等での宿泊も可能な計画とします。

## 検討のフローについて



## 景観環境保全のための検討

- 植栽の伐採・植樹について
  - ・現在伐採範囲等について検証を行っているが、極力伐採を減らす計画とします。
  - ・また新しく樹木を植樹する際には、潮風や飛砂の影響を考慮し既存の樹種を念頭に選定を行うとともに、混植や密植により立ち枯れしにくい植樹計画とする。
- 外観について
  - ・申請建物本体、水廻り棟の外観は天然木板張りで検討を進めております。表面は防腐処理や防腐塗装はしますが木の雰囲気損なう過剰な加色は行わない計画とする。
  - ・パレルサウナ棟は既製品ですが、将棋盤等の製造で国内シェア8割を持つ茨城木工の国産天然木（常陸檜）を用いた製品を選定する。
- 水風呂・水廻り棟からの排水について（パレルサウナ棟からは主な排水はありません）
  - ・水風呂や水廻り棟から発生する排水は直接建物から浸透させない計画とすることで、岬の崖に新しい偏土圧を与えない計画とする。
  - ・上記排水は申請建物横の雨水浸透施設及び、汚水排水として下水本管への放流を行う。（協議中）
- 鳥の衝突防止対策について
  - ・鳥の窓ガラスへの衝突防止対策として6㎡を超える大きなガラス面は設けない計画とする。
  - ・1階の掃き出し窓は庇のしたに計画することで鳥が直接飛び込まない配置とする。
- ファイヤーピットが生態系に与える影響の検証
  - ・ファイヤーピットはガスもしくは薪の使用が可能な計画とする。
  - ・ファイヤーピットの周囲は鎌倉市火災予防条例第3条、第18条の定めにより火の外周部より3.0mを不燃材とする計画とすることで、枯草等への延焼を防ぐ計画とする。
  - ・煙は大掛かりなキャンプファイヤー等ではなく、大量に煙が常時発生することもない。また類似のファイヤーピットによる生態系への影響が大きく報告されていないことから、生態系への影響はないと考える。
- 外部照明等による生態系への影の検証
  - ・外部デッキ及び遊歩道には高い位置から常時照らす照明は設けず、足元を照らすために地面付近に設ける照明（船舶照明等）を計画する。
  - ・また照明の数も外部全体を照らすのではなく、必要最小限の数を必要な場所に計画することで生態系への影響を極力抑える

## デッキ基礎方式について

- 建設による環境へのインパクトを最小化するための工法検討
  - ・本件敷地は自然の地形が残る場所のため、建設によってその地形に与える影響を考慮し、いくつかの比較検討を行いました。（以下にその検証の一部を示します。）

	地盤の安定性	植生・生物への影響	地形の変更	
<p>ピンファウンデーション工法 (株式会社ラスコジャパン)</p>	◎	◎	◎	→ 採用
<p>地盤の種類によりドリルと打撃を併用し地盤への影響を抑える</p> <p>掘削は最小限</p> <p>地形の変更は最小限</p>				
<p>在来独立基礎</p>	◎	○	○	
	支持層に直接設置	土留め及び周囲の根切が必要	根切部以外の掘削は最小限	
<p>盛土改良地盤</p>	△	×	×	
	大きな偏土圧が発生	既存地盤面が土で隠れる	大きく地形が変わる	
<p>在来布基礎</p>	◎	△	△	
<p>C-LESS 基礎 (前田工織)</p>	◎	◎	◎	→ 採用工法と類似

### ○採用工法の詳細（メーカーHPより転記）

ピンファウンデーション工法は国土交通省の新技术情報提供システム「NETIS」（登録番号：KT-090066）に登録された工法です。

#### 特徴

01. 軽量なので人力で運搬できる
02. 重機を必要とせず、ハンディタイプの電動工具だけで施工できる
03. 地盤の掘削、埋め戻しが不要である
04. 施工が簡単なので工期短縮ができる
05. 自然環境にあたる影響が非常に少ない

#### 施工方法

従来のコンクリート基礎工法では、地面を大きく掘削し、重機で基礎ブロックを搬入するのが一般的ですが、このピンファウンデーション工法は、重機を使用せず、地盤面の大きな掘削もありません。アプリケーションとしては、重機が搬入できないような場所や大切な自然環境を守りたい場所等の基礎に最適です。また、在来工法では設置できないような軟弱地盤（換算N値 0.5～2.0）にも対応可能です。

#### 施工手順

01. 掘削（定着ブロックを置くだけ or 小さなショベルのみ使用）
02. 運搬（定着ブロック、打込みピンともに軽量 人力で運搬が可能）
03. 設置（電動工具でピンを打込むだけ）
04. 埋め戻し（不要）

